

令和4年度

主要施策の成果に関する調書

観光・文化スポーツ部

目 次

1	誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現	1
(1)	多文化共生の実現	1
①	日本人と外国人が共生する地域づくり	1
4	地域を愛し世界に通用する人材の育成，文化・スポーツの振興	4
(1)	鹿児島県の発展を牽引する人材の育成	4
①	交流会議等を核とした国際交流の充実	4
(2)	文化の薫り高いふるさとかごしまの形成	10
①	文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実	10
②	地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用	15
③	文化芸術に係る人材の育成	18
④	文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信	19
(3)	「する・みる・ささえる」スポーツの振興	20
①	スポーツを通じた交流人口の拡大，地域活性化	20
11	観光の「稼ぐ力」の向上	22
(1)	国内外における戦略的なPRの展開	22
①	多彩な魅力を活用したPRの展開	22
②	Web等を活用したプロモーションの展開	23
(2)	魅力ある癒やしの観光地の形成	24
①	観光関係施設等の整備	24
(3)	戦略的な誘客の展開	26
①	観光客の来訪の促進等	26
②	外国人観光客の来訪の促進等	40
③	スポーツキャンプ等の誘致	47
(4)	オール鹿児島でのおもてなしの推進	50
①	全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備	50
13	多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出	52
(1)	地域産業の振興を支える人材の確保・育成	52
①	商工業，建設業等を支える人材の確保・育成	52
16	新型コロナウイルス感染症に係る対策	53
(1)	雇用の維持と事業の継続	53
(2)	経済活動の回復	54
17	原油価格・物価高騰等総合緊急対策	60
(1)	原油価格高騰対策	60
(2)	コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	61

1 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現

(1) 多文化共生の実現

① 日本人と外国人が共生する地域づくり

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
国際交流促進費	48,113	—	36,142	11,971	46,636	—	36,142	10,494
内								
国際交流プラザ設置事業	18,580	—	10,000	8,580	18,576	—	10,000	8,576
かごしま多文化共生社会推進事業	2,946	—	—	2,946	1,508	—	—	1,508
かごしま留学生支援事業	2,445	—	2,000	445	2,410	—	2,000	410
訳								
鹿児島県国際交流センター管理運営事業	24,142	—	24,142	—	24,142	—	24,142	—
計	48,113	—	36,142	11,971	46,636	—	36,142	10,494

(1) 国際交流プラザ設置事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

県民と外国人の相互理解を深めるため、国際交流プラザにおいて、県民・外国人・国際交流団体へ交流の場や情報の提供を行うほか、各種相談対応、語学等に関する研修を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

諸外国の生活・文化等の情報提供、県民からの海外渡航等に関する相談への対応、外国人による語学・文化講座等を実施した。

<利用実績>

年度	R2	R3	R4
国際交流プラザ利用者	9,959人	8,307人	11,509人
相談件数	51件	32件	57件

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

県民向けの各種情報の提供・発信や相談受付のほか、外国語講座や文化講座等の実施を通じて、県民の国際理解が深まった。

また、在留外国人との交流が促進されることで、多文化共生社会の実現の促進が図られた。

(2) かごしま多文化共生社会推進事業（国際交流課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

外国人が住みやすい魅力的な鹿児島の実現を図るため、県民と在留外国人との多文化共生社会の実現に向けた取組を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

外国人が住みやすい魅力的な鹿児島の実現を図るとともに、多くの外国人が県内各地で活躍できるよう、県民と在留外国人の交流イベントの開催や地域における特色ある交流活動等を支援したほか、日本語等講座の実施や日本語サポーターや災害ボランティアの養成、関係機関による連絡会議などを開催した。

ア 在留外国人と県民との交流促進事業（かごしま多文化共生社会推進事業補助金）

内 容：桜島を眺めながら交流するツアー

芸術鑑賞会、地域住民との交流、文化交流イベント

盆踊り体験でつながる地域交流

多文化交流会のイベント

イ 日本語・日本文化等理解講座の実施

実施日：令和4年10月2日，10月9日，10月23日，10月30日，11月6日

ウ 日本語サポーター（語学ボランティア）の養成

(ア) 対象地域：大島地域（和泊町・知名町）

実施日：令和4年6月5日，6月11日，6月12日，6月19日，7月3日

(イ) 対象地域：鹿児島地域（日置市）

実施日：令和4年11月27日，12月4日，12月11日，令和5年1月29日，2月5日

エ 災害時外国人支援ボランティアの養成

実施日：令和5年2月12日，2月26日

オ 関係機関との連絡調整

(ア) 庁内連絡会議の開催

実施日：令和5年2月13日

内 容：多文化共生施策の取組状況など

(イ) 市町村連絡会議の開催

実施日：令和4年11月15日

内 容：多文化共生社会推進に関する情報提供など

(ウ) 日本語教室代表者ネットワーク会議の開催

実施日：令和5年2月1日

内 容：課題共有など

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

補助金の交付や日本語サポーター・災害ボランティアの養成，各種講座・会議の開催を通じて，多文化共生社会の推進が図られた。

特に災害時外国人支援ボランティアの養成では，災害時や避難時に必要な基礎知識の習得や通訳・翻訳に関するスキルを学ぶ講座を開催し，災害時における在留外国人支援に向けた気運の醸成が図られた。

(3) かごしま留学生支援事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

私費外国人留学生の勉学・生活の安定化と将来の人的ネットワークの形成に資するため，県内大学等に在籍する留学生に対し，奨学金を交付する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

県内在住の私費外国人留学生10人に，月額20千円の奨学金を交付した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

留学生による県内の国際交流イベントへの参加等が促進されるとともに，将来の人的ネットワーク構築に寄与した。

(4) 鹿児島県国際交流センター管理運営事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

留学生等に宿泊施設を提供するとともに，留学生等の相互交流や留学生等と県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材の育成及び国際相互理解の促進を図るために設置した，鹿児島県国際交流センターの管理運営を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和2年4月1日より供用が開始された「かごしま国際交流センター」において，留学生等へ宿泊施設を提供し，留学生等の相互交流や県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材育成，国際相互理解促進を図った。

ア 事業内容

センターの管理運営の委託（指定管理）

(ア) 施設の維持管理に関する業務

(イ) 施設を利用した事業の企画及び実施に関する業務

- (ウ) 施設の利用者の募集及び利用の許可に関する業務
- (エ) 施設の利用に係る料金に関する業務 等

イ 令和4年度管理業務の実施状況

- (ア) 入居者数 85人（うち外国人 73人）
- (イ) 指定管理者 鹿児島国際交流促進センター

ウ 関係機関との連絡調整

かごしま国際交流センター管理運営連絡会議 令和4年度代表者会

実施日：令和4年8月24日

内 容：今年度の事業計画，現在の指定管理者間の連携状況，今後の連携や実務者間で協議していく事項について

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，令和2年4月の供用開始以降，居室数に対して入居者数が少ない状況となっていたが，令和4年度は入国規制緩和により入居者数は増加傾向となった。感染対策をとりながら関係団体と連携して交流事業や研修事業を実施し，人材育成及び国際相互理解の促進が図られた。

4 地域を愛し世界に通用する人材の育成，文化・スポーツの振興

(1) 鹿児島県の発展を牽引する人材の育成

① 交流会議等を核とした国際交流の充実

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
国際交流促進費	156,471	410	76,798	79,263	139,363	111	80,536	58,716
内								
国際交流企画管理事業	20,367	—	20,000	367	20,317	—	20,000	317
在外県人会等育成事業	1,126	—	—	1,126	1,094	—	—	1,094
渉外事務事業	819	—	—	819	705	—	—	705
アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業	47,301	—	44,000	3,301	47,301	—	44,000	3,301
外国青年招致事業	20,200	410	—	19,790	17,045	111	—	16,934
海外技術協力等推進事業	13,819	—	—	13,819	11,269	—	—	11,269
アジア地域との交流	4,543	—	—	4,543	888	—	—	888
アジアかごしまクラブ形成事業	956	—	—	956	911	—	—	911
渡航事務事業	40,443	—	12,798	27,645	39,160	—	16,536	22,624
海外情報ネットワーク形成事業	82	—	—	82	68	—	—	68
清華大学との交流促進事業	853	—	—	853	126	—	—	126
第23回鹿児島・香港交流会議	5,153	—	—	5,153	146	—	—	146
英国自治体との交流促進事業	384	—	—	384	312	—	—	312
訳								
米国ジョージア州との交流	425	—	—	425	21	—	—	21
計	156,471	410	76,798	79,263	139,363	111	80,536	58,716

(1) 国際交流企画管理事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

国際交流施策の総合的な企画立案を行うとともに、都道府県、九州各県及び県内市町村との連絡調整や意見交換を行い、国際交流の推進を図る。

また、地方公共団体の共同組織として設立された（一財）自治体国際化協会の運営に要する経費の一部を負担し、地域レベルの国際化推進等を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国際交流推進連絡

庁内における各種国際交流事業の総合的企画・連絡調整を行うとともに、今後の国際交流を幅広く推進するため、各都道府県・県内国際交流団体との情報共有を行った。

イ 地域国際化連絡会議（総務省）

オンライン開催

ロ （一財）自治体国際化協会負担金

外国青年招致事業等を実施する同協会に対して、負担金（20,000千円）を支払った。

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

各都道府県、九州各県、県内市町村及び県内国際交流団体との相互連携を深め、国際交流施策の円滑な推進が図られた。

(2) 在外県人会等育成事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

県海外移住家族会や在外県人会等と協力して本県出身移住者の援助促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

海外移住者の安定化を図るため、（公財）鹿児島県国際交流協会及び鹿児島県海外移住家族会の事業に対し助成を行うとともに、関係機関や在外県人会等との連絡調整を行った。

ア 在外県人会等育成費補助金

- ・（公財）鹿児島県国際交流協会に対し、補助金を交付（960千円）
- ・同協会が4在外県人会と業務委託契約し、移住者の援護指導、消息不明者の調査、子弟の育成・指導等を実施（ブラジル560千円、アルゼンチン184千円、ペルー104千円、パラグアイ80千円、事務費32千円）

イ 鹿児島県海外移住家族会協力活動費補助金

- ・鹿児島県海外移住家族会に対し、補助金を交付（100千円）
（在外県人会に係る情報提供、親善交流、移住者援護等）

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

在外県人会による現地での活動が促進され、海外における本県の認知度向上が図られた。

(3) 渉外事務事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

関係国との友好を深め、県民の国際理解・友好親善等を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 外国大使・総領事、使節団等の来鹿に伴う接遇及び通訳、公文書等の翻訳を行った。

年 度	R2	R3	R4
接 遇 及 び 通 訳	12件	12件	20件
公文書等の翻訳	210件	79件	71件

イ 北方領土返還要求運動に係る広報等の協力や、青年海外協力隊活動の支援を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

関係国との相互理解及び友好関係を促進し、国際協力に寄与した。また、翻訳により、県の海外交流の促進、多言語でのPR等に寄与した。

(4) アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

アジアを中心とする海外からの研修生の受入れや、これらの人々と県民との交流を通じた国際理解の増進、生活・文化学習など多様な機能を有するアジア・太平洋農村研修センターの円滑な管理運営を行う。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

アジア・太平洋農村研修センターの維持管理及び国際交流・理解に係る研修等を実施した。

〈利用実績〉

年 度	R2	R3	R4
利用者数	5,281人（うち外国人117人）	5,566人（うち外国人79人）	7,136人（うち外国人440人）
研修団体数	77団体	81団体	109団体

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

県民や在留外国人による研修利用がなされたことにより、交流を通じた国際理解の促進が図られた。

(5) 外国青年招致事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

本県における外国語教育の充実及び地域レベルでの国際交流の促進に資するため、語学指導や国際交流活動を行う外国青年を招致する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

「語学指導等を行う外国青年招致事業（昭和62年度～）」により、県及び市町村に国際交流員14人、外国語指導助手124人の外国青年を配置した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

県及び市町村に配置された国際交流員及び外国語指導助手を活用することにより、国際交流の推進や外国語教育の質の向上が図られた。

(6) 海外技術協力等推進事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

開発途上国から技術研修員を受け入れ、その国の発展と繁栄に貢献し得る人材を育成するとともに、相互の経済・文化の交流促進に寄与する。

また、南米における本県出身移住者の子弟を県内の大学に留学させ、本県と移住先国との緊密化に貢献する有為な人材を育成する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

海外技術研修員及び県費留学生において、各3人を受入予定としていたが、海外技術研修員については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中国からの候補者1人の研修辞退の申し出を受け、令和4年度は2人を受け入れた。

県費留学生については、予定どおり3人を受け入れた。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

海外技術研修員及び県費留学生が県内で研修及び留学を行うことにより、県民との交流が生じ、多文化共生の推進に寄与したことに加え、帰国後の県人会活動への積極的な参加等により、次世代への交流の継承が行われた。

(7) アジア地域との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

国際化の進展に対応するため、アジアに広がる国際交流ネットワークの形成を目指し、韓国全羅北道、中国江蘇省、台湾屏東県との更なる交流の促進を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 第25回鹿児島県・江蘇省交流協議会

鹿児島県と江蘇省との友好交流の関係を強化するため、観光・経済分野における交流の一層の充実・拡大など、今後の交流の在り方等について、令和4年度は江蘇省を訪問し協議を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症に伴う渡航制限等により、書面合意を行った。

イ 台湾屏東県との交流

台湾屏東県との交流促進のため、知事をトップとする訪問団の相互派遣・受入れ等を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症による渡航制限等に伴い、実施が困難な状況であったことから、翌年度の実施に向けて屏東県とオンライン協議を行った。また、屏東県で開催された「屏東クリスマス」にブースを出展し、本県のPRを行った。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

長年にわたり続けてきた友好交流の継続及び今後の更なる交流の促進が確認された。

(8) アジアかごしまクラブ形成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

アジア地域との様々な分野での交流を拡大するため、これまでの交流実績により培ってきた貴重な財産である人的ネットワークの形成を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域との人的ネットワークの形成を推進するために設立した香港、シンガポール、韓国全羅北道のアジアかごしまクラブへの活動助成を行った。

＜クラブの状況＞（各年5月1日現在）

（単位：人）

ク ラ ブ 名	会 員 数			
	設立時	R2	R3	R4
香 港 か ご し ま ク ラ ブ	173	400	400	400
かごしまクラブシンガポール	41	130	130	130
全羅北道かごしまクラブ	42	214	218	218

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

各地のかごしまクラブの活動により、人的交流などが円滑に促進された。

(9) 渡航事務事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

旅券法の規定により、国からの法定受託事務である旅券の発給申請の受理、作成、交付等の事務を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 旅券の発給申請の受理、作成、交付等の事務を処理した。

年度	旅券交付件数
R2	3,061件
R3	2,577件
R4	8,271件

イ 県民サービスの一層の向上を図るため、「鹿児島県事務処理の特例に関する条例」に基づき、旅券の発給申請の受理、交付等の事務を権限移譲している。

＜権限移譲市町村＞

開 始 時 期	移 譲 先 市 町 村	市町村数
平成19年4月1日	与論町	1
平成20年4月1日	出水市, 阿久根市, 霧島市	3
平成22年4月1日	鹿屋市, 西之表市, 伊佐市, 錦江町, 南大隅町, 中種子町, 南種子町, 大和村, 徳之島町	9
平成23年4月1日	指宿市, 垂水市, 南九州市, さつま町, 長島町, 湧水町, 宇検村, 伊仙町	8
平成24年4月1日	志布志市, 大崎町, 肝付町, 天城町, 和泊町, 知名町	6
平成25年4月1日	枕崎市, 曾於市, 東串良町, 瀬戸内町, 喜界町	5
平成26年4月1日	日置市, 南さつま市, 奄美市, 屋久島町, 龍郷町	5
平成27年4月1日	いちき串木野市	1
平成29年4月1日	始良市	1
合 計		39

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

適切な事務を行うことによって、円滑かつ正確な旅券の発給を行うことができた。

(10) 海外情報ネットワーク形成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

本県の海外でのイメージや知名度の向上を図るとともに、海外の観光客の誘致促進、県産品の販路拡大など、観光

をはじめとする本県産業の振興に資する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

本県と海外との永年の交流の中で培ってきた人的ネットワーク等を活用し、海外向けに本県の観光・物産等のPR記事を掲載した外国語（英語・中国語・韓国語）及び日本語によるメールマガジンを発行し、情報発信を行った。

メールマガジン登録者数（各年度3月末時点） （単位：人）

年度	英 語	中国語	韓国語	日本語	合 計
R2	699	253	133	598	1,683
R3	701	253	133	600	1,687
R4	702	258	134	606	1,700

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

本県の観光や特産品等に関する情報を発信することにより、本県のイメージや知名度の向上、産業振興の促進が図られた。

(11) 清華大学との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

平成25年8月に締結した清華大学との包括協定（MOU）に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

清華大学との包括協定（MOU）に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和4年度は中止した。

(12) 第23回鹿児島・香港交流会議（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

アジアの貿易・金融の中心地として目覚ましい発展を遂げている香港との各般にわたる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域における国際ビジネスの拠点となっている香港との各般にわたる交流を促進するため、第23回鹿児島・香港交流会議を鹿児島で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症による渡航制限等に伴い、書面開催により合意を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

芸術文化交流、青少年交流、経済交流、観光PRなど、今後の具体的な交流プログラム7項目について合意がなされた。

(13) 英国自治体との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

友好協定を締結している英国自治体との間で首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、未来の鹿児島を担うグローバルな人材の育成を図るとともに、鹿児島と英国との更なる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

友好協定を締結している英国地方自治体との間で首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、交流の促進を図ることとしていたが、相互の往来が困難となったため中止した。なお、薩摩スチューデントの派遣については、本県高校生4名がオンラインで実施された英国教育体験プログラムに参加した。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

本県高校生が英国教育体験プログラム（オンライン）に参加し、グローバルな人材の育成及び交流の促進が図られた。

(14) 米国ジョージア州との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

昭和41年、本県と姉妹盟約を結んだ米国ジョージア州との間で、さらなる交流促進に向けた取組を行い、両県州の親善関係を強化していく。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

姉妹盟約を締結している米国ジョージア州知事等の受入れや、大学生を対象にした相互理解講座の実施により、親善関係の強化を図ることとしていたが、州知事及び留学生の来日が困難となったため中止した。

(2)文化の薫り高いふるさとかごしまの形成

① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	43,458	35,175	2,000	6,283	40,437	32,343	2,000	6,094
内								
青少年のための芸術鑑賞事業	2,514	—	—	2,514	2,508	—	—	2,508
新たな日常での文化芸術活動支援事業	25,179	25,179	—	—	22,698	22,698	—	—
「県民の日7.14」記念事業	1,828	723	—	1,105	1,704	721	—	983
奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）	9,741	6,273	2,000	1,468	9,686	6,273	2,000	1,413
国際音楽交歓コンサート2022「鹿児島公演」開催事業	3,000	3,000	—	—	2,651	2,651	—	—
かごしま文化芸術活動促進事業	1,196	—	—	1,196	1,190	—	—	1,190
内 訳								
文化施設費	553,126	67,379	433,417	52,330	530,998	66,902	416,250	47,846
文化施設活性化事業	392,580	—	356,417	36,163	391,947	—	356,450	35,497
文化施設整備事業	160,546	67,379	77,000	16,167	139,051	66,902	59,800	12,349
計	596,584	102,554	435,417	58,613	571,435	99,245	418,250	53,940

文化施設整備事業 翌年度への繰越額 19,888千円

(1) 青少年のための芸術鑑賞事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

県内各地において、小・中学校及び特別支援学校の児童生徒等を対象に、優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に関する興味・関心を喚起するとともに、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 内 容

器楽、声楽、邦楽、バレエ、日本舞踊

イ 公演数及び鑑賞者数

年度	公演数	鑑賞者数
R2	4公演	576人
R3	9公演	1,863人
R4	9公演	814人

※ R2年度は、当初9公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、4公演に減少した。

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県内各地の児童生徒等に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

(2) 新たな日常での文化芸術活動支援事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

県内の文化芸術活動団体等が、適切な新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施する、文化芸術活動で広く県民が鑑賞または参加できるものへ助成を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 公演等開催支援

文化芸術活動のうち、集客を伴う活動（補助率：2分の1以内 上限500千円）

応募団体数	助成団体数	助成額
71件	63件	21,688千円

イ 映像配信支援

文化芸術活動のうち、無観客で実施する活動の映像作品を制作し、広く配信するもの。（補助率：2分の1以内 上限300千円）

応募団体数	助成団体数	助成額
4件	4件	1,010千円

<3> 施策の実施による成果(アトカ)

コロナ禍において、文化芸術活動の発表の機会及び県民の鑑賞の機会が確保された。

(3) 「県民の日7.14」記念事業（文化振興課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

「県民の日（7月14日）」が、ふるさとを愛する心を育むとともに、県民一人ひとりが自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島県の未来について考える日となるよう、関連事業を実施する。

<2> 施策の実施状況(アトット)

県民の日の認知度向上

ア 包括連携協定締結企業とのタイアップ

「県民の日」の認知度向上を図るため、包括連携協定企業と連携した周知・広報イベント等を実施

(ア) 期 日 令和4年7月9日（土）、10日（日）、14日（木）

(イ) 場 所 イオンモール鹿児島

(ウ) 内 容 アンケート・クイズの実施、ステージイベント等

(エ) 参加者数 アンケート 148人、ステージイベント 延べ約1,000人

(オ) 啓発ポスターの作成・配布 約1,000か所配布

イ 県有施設の入館・入園料の無料化（単位：人）

施設名	入場者数
歴史・美術センター黎明館	149
霧島アートの森	102
奄美パーク	193
屋久島環境文化村センター	44
フラワーパークかごしま	127
県立博物館プラネタリウム	19
上野原縄文の森	33
合 計	667

ウ 市町村及び民間文化施設の取組

21市町村及び民間の5文化施設において、入館料等の無料化やイベント等が実施された。

エ 学校における取組

県内の約8割の小・中・高校において、鹿児島県の歴史や文化に関する書籍の展示や県民の日に関連した授業などの取組が行われた。

<3> 施策の実施による成果(アトカ)

県内の小・中・高校等の児童・生徒など、県民に一定の周知が図られた。

(4) 奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）（文化振興課）

<1> 施策の目的

世界自然遺産に登録された奄美の独自の文化である島唄の魅力を発信することにより、奄美の自然や文化に対する理解を深める。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 公演名：ほこらしや奄美音楽祭

イ 開催日：令和5年2月25日（土）

ウ 開催地：奄美市（奄美文化センター）

エ 内容：オーケストラによるクラシック演奏、島唄・三味線演奏、島唄とオーケストラの共演

(ア) コンサート

入場者数 1,255人

(イ) 地域との交流

・児童・生徒等を対象としたクリニックの実施

参加者数 73人

・ミニコンサートの実施

入場者数 163人

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

クラシック曲や島唄の魅力を発信することで、文化芸術への関心を高め、奄美の自然や文化への理解の促進を図ることができた。併せて来島したオーケストラ団員と地域との交流を図ることができた。

(5) 国際音楽交歓コンサート2022「鹿児島公演」開催事業（文化振興課）

〈1〉 施策の目的

世界有数の音楽院出身者等をはじめとする一流の音楽家を招へいし、コンサートを開催することで、本県のクラシック音楽の普及と国際交流の促進を図る。（(公社)国際音楽交流協会との共催事業）

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 公演名：国際音楽交歓コンサート2022「鹿児島公演」

イ 開催日：令和4年10月13日（木）

ウ 開催地：薩摩川内市（SSプラザせんだい）

エ 内容：海外の一流の音楽家によるコンサート

オ 入場者数：481人

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

県民に、世界の一流の音楽家によるコンサートを鑑賞する機会を提供することで、本県のクラシック音楽の普及と国際交流の促進を図ることができた。

(6) かごしま文化芸術活動促進事業（文化振興課）

〈1〉 施策の目的

県民や文化芸術団体等が一堂に会して、日頃の活動の成果を発表する「県民文化フェスタ」の開催を支援する。

令和4年度は、世界自然遺産の登録を記念して奄美大島で開催

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 行事名：県民文化フェスタinあまみ2022

イ 開催日：令和4年10月16日（日）

ウ 会場：奄美文化センター

エ 内容：郷土芸能舞台発表、美術・書・文芸などの作品展示

オ 入場者数：1,525人

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

「県民文化フェスタ」の開催により、県内の文化芸術団体等の活動の促進を図るとともに県民の文化芸術活動に対する関心を高めることができた。

(7) 文化施設活性化事業（文化振興課） 〈一部地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

文化センター、みやまコンセール、霧島アートの森の3施設について、効率的で円滑な管理・運営を図るとともに、文化拠点施設としての機能活性化を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

文化センター活性化事業、みやまコンセール活性化事業、霧島アートの森活性化事業

文化センター、みやまコンセール、霧島アートの森の各施設について、指定管理者である公益財団法人鹿児島県文化振興財団において、施設・設備等の維持管理、文化事業の企画及び実施、施設の利用許可・利用料金の徴収に係る業務を行った。

[文化センター]

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第43回霧島国際音楽祭「宝山ホール祭り」 ・ 第43回霧島国際音楽祭キリシマ祝祭管弦楽団公演 ・ 創立40周年ツアー 鼓童ワン・アース・ツアー2022～童 ・ 宝山プレゼンツ 森麻季ソプラノ・リサイタル ・ 東儀秀樹withスペシャルゲスト上妻宏光コンサート <p style="text-align: right;">など</p> <p>※一部公演等については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止</p>	9	7,450人
文化芸術活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第71回鹿児島県高等学校音楽祭 ・ 鹿児島交響楽団第97回定期演奏会 ・ 若葉Festival ・ キャラバン・コンサート <p style="text-align: right;">など</p> <p>※一部公演等については、新型コロナウイルス感染症及び台風の影響を受け中止</p>	17	15,168人
文化芸術に関する情報収集・提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財団情報誌「憩」の作成・配布 ・ ボランティアスタッフによる広報活動 <p style="text-align: right;">など</p>	3	—

[みやまコンセール]

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第13回みやまスペシャル・コンサート ・ 野外音楽フェス～みやまの森の響き～ <p style="text-align: right;">など</p>	5	4,202人
文化芸術鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第90回日本音楽コンクール受賞記念演奏会 ・ みやまふれあいコンサート ・ 務川慧悟 ピアノ・リサイタル <p style="text-align: right;">など</p>	12	3,271人
霧島国際音楽祭運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第43回霧島国際音楽祭 令和4年7月21日～8月7日 <p>みやまコンセールを中心に、国内外の著名な音楽家や多数の受講生を招き演奏会と講習会を開催し、本県の音楽文化振興と若手演奏家の育成を図った。</p>	—	8,620人
文化芸術活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ おとどけコンサート・さてらいとコンサート ・ みやま音楽アカデミーⅠ～Ⅱ <p style="text-align: right;">など</p>	16	12,966人

〔霧島アートの森〕

区 分	内 容	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画展 植松 圭二 展 ・開館20周年記念特別企画展 チェ・ジョンファ展 ・霧島アートの日 11月3日 など 	19,435人
文化芸術鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> ・野外常設展(通年) ・屋内コレクション展(年3回) ・園内ツアー(通年) 	64,071人

＜3＞ 施策の実施による成果(アトカム)

各施設の適切な維持管理が行われたほか、各種文化事業を通じて県内外の方々に文化芸術に触れ親しむ機会を提供することができた。

(8) 文化施設整備事業(文化振興課)

＜1＞ 施策の目的

文化センター、みやまコンセール及び霧島アートの森の機能の維持・充実を図るため、施設・設備等の補修等を行う。また、霧島国際音楽祭の魅力向上と集客促進を図るため、みやまコンセールへのパイプオルガンの整備に向けた調査等を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

施設機能の維持・充実を図るため、みやまコンセールの舞台照明器具更新等を行った。また、パイプオルガンの設置に向け、設置前の音響の状況を調査した。

＜3＞ 施策の実施による成果(アトカム)

県民の文化芸術活動の拠点施設としての機能の維持・充実が図られた。また、パイプオルガンの設置に向けて業者の選定や音響測定を実施し、その推進が図られた。

② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	12,339	6,039	—	6,300	12,079	5,947	—	6,132
内 訳 ユニークベニュー活用 促進事業	12,339	6,039	—	6,300	12,079	5,947	—	6,132
黎 明 館 費	70,015	8,491	13,616	47,908	68,101	8,426	14,373	45,302
内 黎明館常設展示運営 事業	18,901	—	165	18,736	18,454	—	233	18,221
黎明館企画展示事業	12,758	—	1,607	11,151	12,644	—	2,083	10,561
黎明館資料収集整備 事業	2,102	—	—	2,102	1,950	—	—	1,950
県史料編さん事業	19,792	1,078	11,844	6,870	19,074	1,078	12,038	5,958
鶴丸城跡保全整備事業	10,410	4,949	—	5,461	10,149	4,884	—	5,265
内 訳 鶴丸城跡「にぎわい」 創出事業	6,052	2,464	—	3,588	5,830	2,464	19	3,347
計	82,354	14,530	13,616	54,208	80,180	14,373	14,373	51,434

(1) ユニークベニュー活用促進事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

県内の歴史・文化施設等をイベント会場等として活用し、その価値や魅力を広く発信することにより、県民の文化芸術に関する関心を高めるとともに交流人口の拡大を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア ユニークベニューを活用したイベント等の開催支援

歴史的建造物での大衆芸能や神社での人形浄瑠璃の開演等を支援した。

6団体 11,617千円

イ 事例集の作成

本事業の補助対象をモデル事例として活動内容や配慮事項等を広く紹介し、今後の普及拡大につなげるため、事例集を作成した。

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

県内の歴史・文化施設等の活用や県民の文化芸術への関心の向上、交流人口の拡大が図られた。

(2) 黎明館常設展示運営事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

〈1〉 施策の目的

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心を深めるため、鹿児島島の過去から現在までの姿を各種資料等で紹介する常設展示室の運営や企画展示等を行う。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 常設展示室開館

年度	開館日数	観覧者数
R2	286日	24,978人
R3	304日	30,943人
R4	307日	39,459人

※R2, R3は新型コロナウイルス感染症の影響で観覧者数が減

イ 企画展示開催

展 示 名	期 間	観覧者数
古文書の世界－中世文書を中心に－	令和4年5月31日～8月21日	4,794人
南九州の古道	令和4年8月30日～11月20日	6,294人

鮫島尚信	令和4年11月29日～令和5年2月19日	5,208人
近世薩摩藩の対外交流	令和5年2月28日～5月28日	※8,187人

※うち令和4年度中は2,222人

ウ 体験学習講座

3回開催，受講者数32人

〈3〉施策の実施による成果(アトカム)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(3) 黎明館企画展示事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

〈1〉施策の目的

黎明館の自主企画による企画特別展等を行うことにより，本県の歴史や文化遺産等に対する県民の理解と関心を深める。

〈2〉施策の実施状況(アウトプット)

ア 黎明館企画特別展「茶の湯と薩摩」令和4年9月22日～11月6日，入場者数5,298人

イ 黎明館講演会 5回開催，入場者数719人

ウ ふるさと歴史講座 1回開催，受講者数71人

エ 古文書講座 8回開催，受講者数30人（延べ228人）

オ 学芸講座 11回開催，受講者数561人

〈3〉施策の実施による成果(アトカム)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(4) 黎明館資料収集整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

〈1〉施策の目的

本県関係の歴史資料を調査・収集の上，整理・保存するとともに専門的・学術的な調査・研究を行う。

〈2〉施策の実施状況(アウトプット)

令和4年度収集資料 364点

令和4年度末累計 182,420点

「黎明館調査研究報告第35集」を刊行した。

〈3〉施策の実施による成果(アトカム)

本県関係の歴史資料の収集や保存，専門的・学術的な調査・研究が図られた。

(5) 県史料編さん事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

〈1〉施策の目的

本県の史料を編さんし，本県歴史の学術的研究と教育・文化活動の発展に寄与する。

〈2〉施策の実施状況(アウトプット)

「旧記雑録拾遺神社調二」，「市来四郎史料三」を刊行した。

〈3〉施策の実施による成果(アトカム)

本県の基礎史料の整備が図られた。

(6) 鶴丸城跡保全整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館）） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉施策の目的

鹿兒島城跡の石垣について，部分的な孕み出しや隙間が見られることから，石垣修復に向けた取組を行うとともに，

文化財的価値や魅力を高めるため、国の史跡指定を目指す。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

鹿児島城跡の石垣の修復に向けた石垣の現況調査を実施したほか、県指定史跡「鶴丸城跡」の文化財的価値や魅力を高めるため、専門家からの指導・助言を得ながら国の史跡指定に向けた取組を進めた。

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

石垣の修復に向け、現況をカルテとして整理した。

また、「鹿児島城跡」が国史跡に指定された。

(7) 鶴丸城跡「にぎわい」創出事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

御楼門及び県指定史跡「鶴丸城跡」の魅力を発信し、にぎわいを創出することにより、歴史・文化ゾーンの回遊性向上や交流人口の拡大等を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

鶴丸城フェスティバルなど鶴丸城跡にぎわい創出イベント（R4.9.25, R4.11.5）の開催

国指定答申記念のぼり旗、PR法被の作成

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

イベントを通して御楼門や鹿児島城跡の魅力発信及び交流人口の拡大が図られた。

③ 文化芸術に係る人材の育成

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	5,376	—	—	5,376	4,945	—	8	4,937
内 訳 文化行政推進体制整備 事業	5,376	—	—	5,376	4,945	—	8	4,937
計	5,376	—	—	5,376	4,945	—	8	4,937

(1) 文化行政推進体制整備事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

芸術文化奨励賞授与や文化芸術振興審議会の開催，文化振興指導員の設置等により本県文化の振興を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 芸術文化奨励賞

- ・授賞式：令和4年11月28日
- ・受賞者：個人の部 音楽部門 大迫 貴氏
音楽部門 堂園 和也氏
団体の部 総合部門 NPO法人かごしまアートネットワーク

イ 文化芸術振興審議会

- ・期 日：令和4年10月12日
- ・会 場：県庁18階特別会議室
- ・出席委員：15人/17人中
- ・議 題：県文化芸術推進基本計画に基づく施策の令和3年度実績及び令和4年度の計画等について

ウ 文化振興推進員

- ・設置人数：1人
- ・業務内容：県文化協会及び文化団体等への指導・助言等
- ・任 期：令和4年4月1日～令和5年3月31日

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

文化芸術振興審議会の開催や文化振興推進員の設置を通じて，本県文化行政の推進を図ることができた。

④ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源
文 化 施 設 費	39,349	—	33,000	6,349	39,249	—	33,000	6,249
内 文化施設活性化事業 (霧島国際音楽祭運営事 業)(一部再掲)	39,349	—	33,000	6,349	39,249	—	33,000	6,249
計	39,349	—	33,000	6,349	39,249	—	33,000	6,249

(1) 文化施設活性化事業（霧島国際音楽祭運営事業）（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉 （一部再掲）

4 (2) ①(7)において前述

※ 文化芸術交流促進事業（香港からの受入れ）は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(3) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興

① スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
企画総務費	26,884	—	—	26,884	26,872	—	—	26,872
内 訳								
スポーツ・コンベンションセンター整備検討事業	26,884	—	—	26,884	26,872	—	—	26,872
観光費	42,492	27,125	—	15,367	40,505	25,961	—	14,544
内 訳								
県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業	31,750	20,750	—	11,000	31,750	20,750	—	11,000
「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業	4,750	3,670	—	1,080	3,925	2,845	—	1,080
内 訳								
スポーツかごしま推進事業	5,992	2,705	—	3,287	4,830	2,366	—	2,464
計	69,376	27,125	—	42,251	67,377	25,961	—	41,416

(1) スポーツ・コンベンションセンター整備検討事業（スポーツ・コンベンションセンター整備課）

〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

スポーツ・コンベンションセンターの整備に向けた検討を行う。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア PFI等導入可能性調査事業

スポーツ・コンベンションセンターの整備・運営手法の検討に当たり、想定される施設整備費や管理・運営費を低減させるとともに、県民に対するより良いサービスを提供する観点から、専門のコンサルタントを活用し、類似施設の状況や民間事業者の意見・要望、参入意欲などを把握しながら、PFI等手法を導入する場合の最も効率的と思われる事業スキーム（事業形態、事業期間、資金調達方法など）の整理を行った。

その上で、公共が自ら整備等を行う従来型手法と費用総額や管理運営の効率性などの観点から比較し、PFI等手法の導入の適否について検討を行った。

イ 整備予定地地盤調査事業

スポーツ・コンベンションセンターの整備予定地であるドルフィンポート跡地の地盤が、どの程度の強度を有するか等を把握するため、ボーリング調査を行った。

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

ア 従来型手法とPFI方式について比較検討するなどした結果、PFI方式の導入が最適とした最終報告のとりまとめを行った。

イ 調査の結果、ドルフィンポート跡地の地盤は、砂質土を主体に構成されており、これまでに、鹿児島港本港区エリア周辺で施設整備がなされた際に実施した地盤調査6か所と同様の地層構成、土質であり、また、地盤の強度も同程度となっていることを確認した。

(2) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「鹿児島ユナイテッドFC」への支援を通じて、本県を広くPRし、交流人口の拡大やスポーツの振興に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 「鹿児島をもっとひとつに。」プロジェクト実行委員会に対する負担金の拠出

イ 鹿児島ユナイテッドFCに対する広告料の支出

ウ その他側面的な支援

- ・市町村広報誌や県広報誌を活用したホーム戦日程等の広報
- ・県庁舎等でのチラシ・ポスターの配布
- ・県政広報番組を活用したクラブのPR（1回放送）

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

2022シーズン（R4.3月～R4.12月）の年間総入場者数が80,579人（前年比28,253人増、54%増）と増加した。

(3) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「鹿児島レブナイズ」への支援を通じて、本県を広くPRし、交流人口の拡大やスポーツの振興に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

- ア 鹿児島レブナイズ地域活性化実行委員会に対する負担金の拠出
- イ 鹿児島レブナイズに対する広告料の支出
- ウ その他側面的な支援
 - ・市町村広報誌や県広報誌を活用したホーム戦日程等の広報
 - ・県庁舎等でのチラシ・ポスターの配布
 - ・県政広報番組を活用したクラブのPR（1回放送）

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

2022-23シーズン（R4.10月～R5.5月）は、年間総入場者数が36,763人（前年比23,303人増、173%増）と増加した。

(4) スポーツかごしま推進事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

かごしまのスポーツ資源などを活用して、スポーツに親しむ機会を創出し、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

- ア スポーツイベント等を開催する団体に対する助成

地域資源との相乗効果による持続可能な交流人口の拡大に資する継続的なスポーツイベント等の開催に要する経費の一部を助成

補助団体数	補助額
7件	2,700千円

- イ スポーツかごしま活性化連絡会の設置・運営

県内に本拠地を置くプロスポーツチーム等の連携による認知度向上の取組を推進する。
（連絡会の開催：3回、連携PR活動の実施：5回）
- ウ かごしまトップスポーツクラブの認定

スポーツクラブのステータスやモチベーションの向上をはじめ、クラブの体制強化・育成を図るため、これまで鹿児島島のスポーツを盛り上げてきたスポーツクラブ（計7団体、R4年度：1団体認定）を認定
- エ かごしまスポーツ応援団体の募集

スポーツ振興の取組を積極的に応援する県内の企業等23団体を「かごしまスポーツ応援団体」として認定し、本県スポーツを支える重要な資源として、その取組等を県民に周知することにより、企業等がスポーツを応援する機運を醸成し、本県のスポーツ振興を図った。
- オ 薩摩おいどんカップ2023における本県PRの実施

カテゴリーの枠を超えた大規模な野球の交流戦である「薩摩おいどんカップ」において、配信映像や大会HP、球場横断幕における広告の掲出や来場者に対する観光等PRを行い、本県のPRを実施した。

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

県内で新たなスポーツイベントが開催されたほか、かごしまトップスポーツクラブやかごしまスポーツ応援団体の認定により、スポーツを核とした交流人口の拡大や地域活性化が図られた。

11 観光の「稼ぐ力」の向上

(1) 国内外における戦略的なPRの展開

① 多彩な魅力を活用したPRの展開

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
中小企業振興費	16,377	8,050	—	8,327	16,012	8,006	—	8,006
内 鹿児島PR戦略策定事業	15,046	7,523	—	7,523	14,958	7,479	—	7,479
内 薩長土肥連携事業	1,331	527	—	804	1,054	527	—	527
計	16,377	8,050	—	8,327	16,012	8,006	—	8,006

(1) 鹿児島PR戦略策定事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

平成29年に策定した「新鹿児島PR戦略」の見直しを行うとともに、本県の多彩な魅力を効果的に遡及できるような新たなキャッチコピーを策定し、本県の更なる認知度向上やイメージアップを図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 「鹿児島PR基本戦略」の策定

平成29年12月に策定した「新鹿児島PR戦略」が令和4年度末で終期を迎えることから、新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化やデジタル化の進展など、社会経済情勢や時代の潮流、本県を取り巻く環境を踏まえた見直しを行い、今後の本県のPR展開の考え方や取組等を取りまとめた「鹿児島PR基本戦略」を策定した。

イ 新キャッチコピー、イメージアップポスター等の作成

「鹿児島PR基本戦略」のコンセプト「動かすPR」を踏まえて、新たなキャッチコピー「南の宝箱 鹿児島」を作成したほか、このキャッチコピーを使用した県の新たなPRポスターやPR資材を作成した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

平成29年に策定した「新鹿児島PR戦略」の見直しを行うとともに、本県の多彩な魅力を効果的に遡及できるような新たなキャッチコピーを策定し、本県の更なる認知度向上やイメージアップが図られた。

(2) 薩長土肥連携事業（文化振興課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

明治維新150周年を記念して、平成30年度に鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県の4県が締結した「薩長土肥同盟」に基づき、4県が連携して青少年の交流事業を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 薩長土肥連携青少年交流事業

- ・実施日：令和4年10月8日（土）～10日（月・祝）
- ・場所：佐賀城本丸歴史館，SAGAサンライズパーク 等
- ・参加者：鹿児島県，山口県，高知県，佐賀県の高校生 40名

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

青少年の交流事業を通して、参加した高校生が各県の歴史について理解を深めるとともに相互の交流を図ることができた。

② Web等を活用したプロモーションの展開

(単位：千円)

予算科目	予算額	財 源 内 訳			決算額	財 源 内 訳		
		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源
中小企業振興費	10,000	10,000	—	—	9,326	9,326	—	—
内訳 KAGOSHIMAイメージアップ事業	10,000	10,000	—	—	9,326	9,326	—	—
計	10,000	10,000	—	—	9,326	9,326	—	—

(1) KAGOSHIMAイメージアップ事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

民間企業等と連携したプロモーションの展開やSNS、PR動画を活用した情報発信を行い、国内外へ本県の多彩な魅力を発信する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 首都圏等でのPR動画を活用したプロモーションの実施

首都圏において、本県の認知度向上やイメージアップを図るため、「渋谷・鹿児島おはら祭り」など本県とゆかりがある渋谷において、本県のPRを実施した。

(ア) PR動画の放映

- ・期 間：令和4年10月31日（月）～11月6日（日）
- ・場 所：田園都市線渋谷駅ビックサイネージ
- ・内 容：本県の多彩な魅力を紹介するPR動画の放映

(イ) 「渋谷ごみゼロ大作戦2022」

- ・期 日：令和4年11月1日（火）
- ・場 所：渋谷駅ハチ公広場周辺
- ・内 容：かごしまPRキャラクターのぐりぶーファミリー等のゆるキャラを活用し、「渋谷ごみゼロ大作戦2022」においてPR活動を実施

イ 県PR画像の更新

令和4年8月22日に日本夜景遺産に認定された県庁18階展望ロビーからの夜景や、鹿児島黒牛・かごしま黒豚・黒さつま鶏・さつまいもなどの鹿児島の食に関する素材の撮影を行い、庁内外で広く活用することにより、本県の魅力を発信した。

ウ SNSを活用した海外向け情報発信

鹿児島県民の個人ストーリーを通じて本県の多彩な魅力を英語で紹介する動画を作成し、本県の多様な魅力を国内外へ広く発信した。

- ・アカウント名：People of Kagoshima
- ・発信媒体：YouTube, Instagram
- ・開設日：令和3年8月3日
- ・投稿頻度：1回/月

〈3〉 施策実施による成果(アウトカム)

PR動画等を活用したプロモーションの実施やSNSを活用した積極的な情報発信を行ったことにより、本県の多彩な魅力を国内外に広く発信することができ、更なるイメージアップや認知度向上が図られた。

(2) 魅力ある癒やしの観光地の形成

① 観光関係施設等の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	3,027,712	67,355	2,825,357	135,000	2,563,386	65,528	2,424,531	73,327
内 魅力ある観光地づくり 事業	1,435,052	21,025	1,279,027	135,000	974,379	21,025	880,027	73,327
内 奄美パーク改修等事業	92,660	46,330	46,330	—	89,007	44,503	44,504	—
内 ハイブランドホテル整 備事業	1,500,000	—	1,500,000	—	1,500,000	—	1,500,000	—
計	3,027,712	67,355	2,825,357	135,000	2,563,386	65,528	2,424,531	73,327

魅力ある観光地づくり事業 翌年度への繰越額 460,349千円

(1) 魅力ある観光地づくり事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

本県を訪れる観光客の受入体制の充実を図るため、地域素材を生かしたにぎわい空間や体験空間の創出、沿道修景などの景観整備やわかりやすい案内標識の整備を行い「魅力ある観光地づくり」を推進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア にぎわい回廊整備

地域の自然・歴史・文化等の魅力的な観光資源を活かしたにぎわいや憩いの空間の創出・沿道修景等の整備を行った。

(にぎわい回廊整備状況)

地 域 名	整 備 箇 所
鹿 児 島	市来観音ヶ池周辺景観整備（いちき串木野市）
	日本遺産周遊観光ルート整備（いちき串木野市）
南 薩	池田湖周辺景観整備（指宿市）
北 薩	出水戦跡巡り周辺整備（出水市）
	出水武家屋敷群散策拠点整備（出水市）
	日本遺産周遊観光ルート整備（出水市・薩摩川内市）
	甕島観光交流拠点整備（薩摩川内市）
	長島サンセットロード景観整備（長島町）
	阿久根北部観光拠点整備（阿久根市）
始良・伊佐	肥薩線沿線周遊観光ルート整備（霧島市）
	重富まち歩き拠点整備（始良市）
	日本遺産周遊観光ルート整備（始良市）
	曾木の滝周遊景観整備（伊佐市）
	八幡大地獄散策路整備（湧水町）
大 隅	鹿屋しおかぜ街道整備（鹿屋市）
	大隅歴史散策拠点整備（肝付町、東串良町）
	神川七福神めぐり整備（錦江町）
	雄川の滝周辺景観整備（南大隅町）
	日本遺産周遊観光ルート整備（志布志市）
熊 毛	種子島北部観光拠点整備（西之表市）
大 島	奄美歴史浪漫探訪整備（龍郷町、大和村、瀬戸内町）
	西郷南州史跡周辺整備（龍郷町）
	敬天愛人発祥の地周辺整備（和泊町）
	奄美トレイル観光環境整備（宇検村・伊仙町）

イ 観光案内標識（サイン）整備

全ての観光客がストレス無く快適に観光を満喫できるよう、外国語併記の観光案内標識等の整備を行った。

（案内標識設置状況）

（単位：基）

種 別	～H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
観光案内板	36	—	—	—	—	—	—	—	1	0	37
観光案内標識 （かごしまロマン街道）	821	52	34	39	9	—	4	5	14	6	984
道路案内標識	996	3	7	6	2	10	9	5	—	—	1,038
合 計	1,853	55	41	45	11	10	13	10	15	6	2,059

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ア にぎわい回廊整備

県内各地において、広域観光ルートの拠点となる「魅力ある癒やしの観光地」の形成が図られ、本県を訪れる観光客の満足度と回遊性が高まった。

イ 観光案内標識（サイン）整備

外国語併記の観光案内標識等の整備、充実により、観光客の県内観光地への適確な誘導・案内が図られた。

(2) 奄美パーク改修等事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

奄美の世界自然遺産登録を踏まえ、施設の長寿命化を図るとともに、世界遺産の情報発信拠点としてふさわしい施設となるよう改修を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

施設機能の維持・充実を図るため、奄美の郷のイベント広場照明設備改修を行った。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

奄美群島の自然や生活文化を学ぶ場として、より一層の受入体制の強化及び機能充実が図られた。

(3) ハイブランドホテル整備事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

富裕層をはじめとした外国人観光客の受入体制の整備促進を図るため、地域総合整備資金（ふるさと融資）を活用し、民間企業が行うハイブランドホテルの整備に対する支援を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

シェラトン鹿児島島の整備に対し、地域総合整備資金（ふるさと融資）を活用し、長期無利子資金を融資した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

新たな雇用が創出されたほか、富裕層をはじめとした外国人観光客の受入体制の整備促進が図られた。

(3) 戦略的な誘客の展開

① 観光客の来訪の促進等

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳			
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源	
企画総務費	14,672	8,093	—	6,579	13,315	7,834	—	5,481	
内訳	「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業	14,672	8,093	—	6,579	13,315	7,834	—	5,481
観光費	301,044	240,400	5,077	55,567	269,691	209,037	5,191	55,463	
内訳	観光かごしま大キャンペーン推進事業	75,000	37,500	3,877	33,623	75,000	37,500	3,958	33,542
	「稼ぐ力」向上のための誘客プロモーション事業	74,661	73,461	1,200	—	74,321	73,111	1,210	—
	2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業	4,761	4,761	—	—	3,569	3,569	—	—
	フィルムコミッション活動支援事業	8,739	4,369	—	4,370	8,739	4,369	23	4,347
	修学旅行等対策事業	1,200	600	—	600	1,200	600	—	600
	教育旅行学習プログラム造成事業	12,068	12,068	—	—	11,961	11,961	—	—
	わたしの鹿児島よかとこ旅事業	10,000	10,000	—	—	9,697	9,697	—	—
	鹿児島・佐賀相互誘客事業	19,065	19,065	—	—	1,928	1,928	—	—
	鹿児島・岐阜交流県誘客事業	14,122	14,122	—	—	4,930	4,930	—	—
	南九州観光振興事業	2,000	—	—	2,000	2,000	—	—	2,000
	「稼げる」観光地域づくり推進事業	21,089	21,089	—	—	20,372	20,372	—	—
	サイクルツーリズム推進事業	18,945	18,945	—	—	17,405	17,405	—	—
	磯新駅設置支援事業	2,894	—	—	2,894	2,894	—	—	2,894
	県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業(再掲)	31,750	20,750	—	11,000	31,750	20,750	—	11,000
内訳	「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業(再掲)	4,750	3,670	—	1,080	3,925	2,845	—	1,080
計	315,716	248,493	5,077	62,146	283,006	216,871	5,191	60,944	

【参考】①目標値

区分	基準年 (H30年)	目標 (R6年)	現状 (R4年)
(1) 宿泊者数を増やす ^(注1)			
① 延べ宿泊者数	約8,864千人泊	9,900千人泊	6,090千人泊
② ①のうち、外国人延べ宿泊者数	約831千人泊	1,500千人泊	38千人泊
(2) 観光客の満足度を高め、リピーターを増やす			
	(H30年度)	(R6年度)	(R4年度)
観光客の満足度	約76%	100%	約91%

②本県観光客の推移

(単位：人泊)

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
延べ宿泊者数	8,864,320	8,366,340	5,126,520	4,925,760	6,089,460

※出典：観光庁「宿泊旅行統計」

※対象施設：全てのホテル・旅館・簡易宿泊所

(注1)観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数(暦年)の集計結果を目標の指標として設定

(1)「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(文化振興課 世界文化遺産室) (地方創生関連事業)

〈1〉施策の目的

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の管理保全や、次世代への継承に向けた普及啓発、世界遺産価値の理解増進・情報発信に取り組む。

〈2〉施策の実施状況(アウトプット)

ア 県の取組

(ア) 管理保全

構成資産の管理保全に係る各種会議(保全委員会、集成館地区管理保全協議会等)への参加など

(イ) 普及啓発

「明治日本の産業革命遺産」及び県内の構成資産について、世界文化遺産としての価値について理解を深めてもらい、次世代へ継承していくという県民意識の醸成を図るため、県内全域を対象とした普及啓発に取り組んだ。

a 教育連携

(a) 副読本「かごしまタイムトラベル」の改訂増刷・配布

増刷部数	配布先	活用等	規格等
12,500部	県内の小学5年生、 市町村教育委員会	・学校現場での活用 ・教職員研修での活用	A4・24頁

b 県内波及への取組等

事業名	事業内容	場所等	参加者
かごしま産業遺産の道事業	集成館事業に関連する県内の産業遺産を紹介する「かごしま産業遺産の道」ホームページの県観光サイトにおける運用	鹿児島県観光サイト 「かごしまの旅」に公開	—
近代化産業遺産普及・啓発事業	1 児童向けの出前講座 (1) 日程 令和4年11月12日, 18日, 令和5年2月8日 (2) 内容 「かごしまタイムトラベル」等を活用した「明治日本の産業革命遺産」の概要説明	志布志市立尾野見小学校 曾於市立月野小学校 志布志市立志布志小学校	43人 53人 48人
	2 一般県民向けバスツアー・まち歩き (1) 知覧の製鉄遺跡等を巡るバスツアー ① 日程 令和4年10月9日 ② 内容 集成館事業を支えた南薩の製鉄技術について学ぶ (2) 幕末の台場等を巡るまち歩き ① 日程 令和5年2月19日 ② 内容 薩英戦争の台場等について学ぶ	知覧の製鉄遺跡等 新波止砲台跡等	20人 28人

(ウ) 理解増進・情報発信

「明治日本の産業革命遺産」の県内の構成資産について、県内外での認知度向上及び理解増進を図った。

a 観光素材相談会(オンライン)及び教育旅行説明会(大阪)への参加

b 県内構成資産紹介パンフレットの増刷

名称	作成部数	規格等
明治日本の産業革命遺産「産業国家」日本の原点 鹿児島	7,000部	A4・16頁

c 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」認定・登録

育成研修名：鹿児島大学大学院「総合講義（鹿児島県における世界文化遺産）」

研修実施日：令和5年1月21日，22日，28日

研修修了者：11人

認定・登録者：24人（累計，令和5年3月31日現在）

d 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」フォローアップ研修の実施

研修実施日：令和5年2月4日，18日，25日

研修内容：ガイド案内の基本事項に係る座学，関吉の疎水溝・旧集成館反射炉跡等でのガイド実習

参加者：当該案内士など19人

イ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組

(ア) 世界遺産委員会決議への対応

国が，令和4年11月30日付けでユネスコに提出した保全状況報告書（第44回世界遺産委員会決議への対応）について，内閣官房や関係自治体等と連携を図りながら，報告内容の連絡調整など必要な対応を行った。

(イ) インタープリテーション（理解増進・情報発信）の推進

項目	取組内容
8県11市23資産の理解増進及び情報発信	① フォトコンテストの実施 ② 構成資産を舞台としたミステリー小説の制作・公開（令和4年度は県外の構成資産を舞台とする3作品） ③ リーフレット制作（30,000部） ④ ホームページ更新 など

(ウ) 人材育成

項目	取組内容
ガイドの人材育成	① ガイド研修会の開催 （天候不良による研修会中止のためDVDを配布） 対象者：各構成資産地域のガイド，自治体職員等 内容：地域のガイド活動事例
自治体職員の人材育成	② 管理保全研修会の開催 日 程：a 令和4年5月18日（現地（福岡）とオンライン併用） b 令和4年12月20日（現地（福岡）とオンライン併用） 場 所：福岡県 対象者：自治体職員（a 48人，b 37人） 内 容：管理保全の概要，遺産影響評価の意義・役割など

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

小学生向け副読本の配布等により，県内構成資産を次の世代に引き継ぐという県民意識の醸成が図られた。

また，世界遺産委員会決議への対応や人材育成の取組などにより構成資産の管理保全を図るとともに，フォトコンテストやミステリー小説の制作などにより本遺産に対する理解増進等が図られた。

(2) 観光かごしま大キャンペーン推進事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

本県を訪れる観光客の一層の増加を図るため，メディア，キャリア，エージェント等を活用した効果的な誘客キャンペーン等を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

官民一体となり、鹿児島県の観光を再活性化し、一層の誘致促進を図るため、新しい旅のスタイルやニーズの多様化に対応したコンテンツ造成や情報発信のほか、キャリアタイアップ等による、誘客キャンペーンに取り組む観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

【誘客対策】

ア 旅行需要を喚起する観光素材の創出

(ア) 広域観光周遊ルートの整備

a 指宿・屋久島ワーケーションプロジェクト

令和3年度に指宿・屋久島広域観光推進協議会と共同で推進ワーケーションプロジェクトの成果物である特設ページについてGoogleディスプレイ広告を利用した情報発信及び特設ページへの誘導を実施した。

実績：表示回数1,213,790回うちクリック回数15,597回

b 拠点発周遊観光マップ（かごしまっふ）の改訂

c 霧島・えびの高原ロングトレイル事業

霧島錦江湾国立公園を舞台に関係者等のセミナー等を通じて、サステナブルな観光コンテンツの磨き上げや商品造成を行った。

セミナー参加者数：55名

(イ) 本県観光素材及びテーマ等を活用した誘客促進事業

a 日本遺産麓を巡る関係者モニターツアー（大隅・北薩地域）

鹿児島県唯一の日本遺産である「麓」を紹介する観光素材集を作成し、地元の魅力を再発見し今後の観光につなげることを目的に麓や関連施設等を観光業界関係者等が実際に巡る日帰りバスツアーを実施した。

参加者数：27名

b 持続可能な観光促進事業

①カゴシマサスティナブルトリップ作成

新しい旅のスタイルを提案することを目的にパンフレット（つなぐ、つむぐ旅 鹿児島）を作成した。

作成部数：10,000部

②「ウェルネスかごしま」魅力増進発掘プロジェクト

令和2年度に公募の中から選ばれた県内9つの旅行プランを活用し、九州在住の女性をターゲットにしたプロモーションやキャンペーンを実施した。

③「鹿児島×Z世代」プロモーション事業

Z世代に向けて、同年代の大学生を活用したソーシャルメディアでの情報発信によるプロモーションを実施し、直接旅行商品購入に誘導する仕組づくりを行うとともに、市場の新規開拓を図った。

(ウ) 着地型観光の造成推進

a 個人旅行者向け体験型旅行商品販売推進事業（V I S I T鹿児島県の展開）

県内の体験プランをWEB上で予約・販売できるシステムを導入し、観光客の利便性の向上と滞在時間・観光消費額の増加を図った。

令和4年度新規商品：33商品

b 販売促進対策

多彩な体験プログラムの認知度向上を目的に、WEB広告の実施やモニターキャンペーンを実施した。

(エ) 着地型観光セミナー

着地型観光に関する動向、先進地の事例または課題等をテーマにセミナーを開催した。

参加者数：55名

イ 戦略的な情報発信

(ア) 県公式観光サイト等を活用した情報発信

鹿児島の魅力を効果的にPRするために、こまめな情報の更新や県関係の別サイトへの接続による情報の一元化に取り組むとともに、ホームページへのアクセス数解析について勉強会を開催した。

(イ) 各種媒体及びテーマに沿った情報発信

雑誌・メディアとタイアップした情報発信等を実施することにより、本県のイメージアップを図り、観光人口交流の促進を図った。

a 鹿児島県に関する情報発信

クレアトラベラー（3万部）やサライ（12万部）等で鹿児島県の魅力等を紹介した。

b ツーリズムEXPOジャパン出展

世界最大級の総合観光イベントに出展し、鹿児島県の魅力を発信した。

来場者数：124,074人

(ウ) 地域の特性と魅力を生かした効果的なPR

a 域内観光促進事業

鹿児島県PR観光課及び（公社）鹿児島県観光連盟に出向中のJALの客室乗務員による県内観光地などの魅力を県観光サイト上に掲載した。

b ノベルティ作成

エージェント向けの布バックのほかに、環境に配慮した竹素材のノベルティを作成した。

ウ 効果的なプロモーション展開

(ア) 旅行エージェント・キャリア等と連携した誘客促進

a 旅行商品造成支援

①旅行エージェントの本県離島への旅行商品及び拠点観光地以外の素材を使用した旅行商品造成における支援

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
助成件数	35件	70件	47件	22件	19件	15件
送客実績	8,024人	27,176人	17,922人	4,958人	3,679人	1,873人

②受注型企画旅行等団体旅行誘致支援事業（貸切バス）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
実績台数	77台	85台	74台	4台	1台	28台

③広域受注型企画旅行商品造成支援事業（新型コロナ対策）

県内ホテル等の宿泊を伴う受注型企画旅行等に対し、貸切バス助成などを行い、誘客を促進した。

実績台数：13台

b 旅行エージェントが実施する社員や代理店を対象とした現地視察研修等に対して支援を行った。

実績：5件

c 旅行エージェントやキャリアが独自に行う大型キャンペーン等で本県への集中送客が見込めるものとタイアップを行った。（7件）

(イ) 観光関係団体等と連携した誘客促進

a 九州観光機構と連携した誘客促進

商談会の実施（101件）

b 各観光連絡協議会等観光関係団体と連携した誘客促進

県外各県観光連絡協議会主催による旅行エージェント招聘事業に協賛を行った（参加者：19社）

【誘客拡大特別対策】

ア テーマ性のある観光キャンペーン

(ア) 九州新幹線を利用した誘客強化キャンペーン

a JR九州と連携したキャンペーン

「夏の鹿児島キャンペーン」の展開（令和4年5月30日～令和4年9月30日）

JR九州と連携して、新幹線沿線地域の周遊を促すキャンペーンを行い、旅行商品の造成・販売、特別料金割引、宣伝展開等の取組により、本県への誘客促進を図った。

送客実績：27,763席

b JR西日本と連携したキャンペーン

「新幹線で九州へ！熊本・鹿児島キャンペーン」の展開（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

旅行商品の造成・販売，宣伝展開等の取組により，本県への誘客促進を図った。

送客実績 7,616人泊

c 主要観光地のプロモーションキャンペーン（令和5年2月22日～令和5年4月28日）

新幹線を利用した観光キャンペーン「鹿児島グルメ旅」の展開

「鹿児島グルメ」をフックに観光マップの作成や，新幹線を利用した観光キャンペーンを実施し，誘客促進を図った。

グルメ観光マップ作成：10,000部

送客実績：48人

(イ) 鹿児島の世界遺産（奄美・屋久島・文化遺産）キャンペーン

a JALと連携したキャンペーン（令和4年9月1日～令和4年11月30日）

県外在住のJALマイレージバンク会員を対象に鹿児島県内空港を発着する路線を利用し，アンケートを回答した方から抽選でJALマイルをプレゼントするキャンペーンを実施し，誘客促進を図った。

参加者数：4,864名

b 鹿児島の世界遺産（奄美・屋久島・文化遺産）キャンペーン（令和4年11月1日～令和5年1月31日）

本県が有する3つの世界遺産の認知度向上と，その周辺離島を含めた広域の周遊を促進するため，デジタルスタンプラリー及びプロモーションを実施した。

参加者数：1,781名

(ウ) 関西誘客キャンペーン（さんふらわあタイアップ）（令和4年10月7日～令和5年1月31日）

フェリーさんふらわあと連携し，インフルエンサーを活用したキャンペーンを実施し，大隅地域の周遊促進を図った。

YouTube 投稿本数 5本

インスタグラムキャンペーン 投稿本数（画像投稿179本，動画投稿30本）

イ 誘客促進活動

(ア) 九州観光機構と連携した誘客促進

a 観光素材集の作成

b 商談会の実施（101件）

(イ) イベントにおけるPR活動

本県への誘客が期待できるイベント等へ出展し，観光情報の発信を行った。

イベント	期間	場所
ひろしま発！旅行ナビ2022	9/3(土)～9/4(日)	イオンモール広島府中
ツーリズムEXPOジャパン2022	9/22(木)～9/25(日)	東京ビッグサイト
全国和牛能力共進会鹿児島大会	10/6(木)～10/10(月)	霧島市牧園町 (霧島高原国民休養地周辺)
大関ヶ原2022	10/9(日)～10/10(月)	笹尾山グラウンド (岐阜県関ヶ原町)
薩摩おいどんカップ	2/23(木)，2/25(土) 3/4(土)～3/5(日)	県内野球場 (平和リース球場他3球場)

(ウ) 県外事務所のネットワークを活用した情報発信

東京事務所・大阪事務所・福岡事務所において，観光物産展での観光PRや，地元メディアによるPRなど，現地ならではのネットワークを活用した情報発信を実施した。

(エ) その他の誘客活動

a NEXCO西日本高速道路との連携

NEXCO西日本「観光周遊ドライブパス」への特典提供を行い，誘客促進を図った。

b JALとのタイアップ

JAL機内誌（「SKYWARD」3月号）に鹿児島黒牛や観光情報を掲載した。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

令和4年度年間値（R4.4月～R5.3月 観光庁「宿泊旅行統計調査」月別 ※R5.1月～3月は速報値）

延べ宿泊者数（人泊）

区分	人泊	対前年比
鹿児島県	6,619,950	127%
うち国内客宿泊数	6,521,280	125%

新しい旅のスタイルやニーズの多様化に対応した各種事業を展開するとともに、本県観光の付加価値の向上や県内広域に波及効果がある観光周遊ルートづくり、旅行エージェントや交通キャリア等とタイアップした効果的な誘客の展開により、令和4年度の鹿児島県延べ宿泊者数のうち国内宿泊者数は6,521,280人泊、前年比増減率は125%となった。

(3) 「稼ぐ力」向上のための誘客プロモーション事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

本県観光客の消費額やニーズ等を計るマーケティング調査を行い、調査結果に基づく効果的なプロモーションの実施により誘客促進と観光消費額の向上を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア マーケティング調査

(ア) 携帯電話の基地局データを用いた属性（性別・年代・居住地）別の観光客数調査

(イ) 観光イメージ・認知度・興味度等の調査

(ウ) 人流データを用いた観光客動線調査

イ 観光消費額調査

クレジットカード決済情報を活用し、県内で消費を行う観光客（外国人を含む）の属性や消費動向、周遊傾向などの調査

ウ 調査に基づいた誘客促進

調査で得られたデータに基づき、ターゲット（年代、性別等）に最適な媒体（SNS、活字等）を用いたプロモーションを実施

(ア) SNSを活用した情報発信

a 母娘で楽しめる旅行をテーマとしたプロモーション

実施内容	実施時期	実績
3組のインフルエンサーによるSNSでの情報発信（Instagram・TikTok）	令和4年9月公開	合計リーチ数：1,970,147 （令和5年3月24日時点）
SNS広告配信（Instagram・Twitter）	令和4年11月14日～ 令和4年11月30日	合計表示回数： 2,891,326回
ウェブサイト「こけけ かがしま 母娘旅」特設ページ	令和4年9月30日公開	PV数：20,565 （令和5年3月24日時点）
Twitterプレゼントキャンペーン	令和4年11月14日～ 令和4年11月30日	総参加数：427人
東京駅・名古屋駅・新大阪駅でのデジタルサイネージ広告	令和4年11月15日～11月20日 令和5年2月20日～3月5日	動画放映回数：16,950回
プレスリリース配信サービス「@Press」を利用した配信	令和4年11月14日配信	掲載Webメディア数：43

b 一人で楽しめる旅行をテーマとしたプロモーション

実施内容	実施時期	実績
3組のインフルエンサーによるSNSでの情報発信（YouTube・Instagram）	令和4年9月公開	合計リーチ数：380,674 （令和5年3月23日時点）

SNS広告配信 (Instagram・LINE)	令和5年2月10日～ 令和5年3月12日	合計表示回数： 1,849,902回
ウェブサイト「KAGOSHIMA Healing Trip」特設ページ	令和4年12月1日公開	PV数：20,904 (令和5年3月23日時点)
「GENIC」WEB記事掲載	令和4年11月10日公開	PV数：約12,000
「GENIC」によるInstagramを活用した特設ページ訴求のための投稿	令和4年11月公開	合計リーチ数：22,993 (令和5年3月23日時点)

c 友人旅をテーマとしたプロモーション

実施内容	実施時期	実績
3組のインフルエンサーによるSNSでの情報発信 (Instagram・TikTok・YouTube)	令和4年11月公開	合計リーチ数：1,241,311 (令和5年3月24日時点)
SNS広告配信 (Instagram・TikTok・YouTube)	令和5年3月より実施	合計表示回数： 2,177,606回

(イ) メディア媒体を活用した情報発信

主に消費単価の高い中高年層を対象に購読者数が多い活字媒体を活用したプロモーションを展開した。

a 鹿児島湾周辺をテーマとしたプロモーション

実施内容	実施時期	実績
雑誌「BRUTUS」(特別企画10ページ)	令和4年10月17日発売	部数：約65,000部
「BRUTUS.jp」にて記事転載	令和4年11月14日公開	PV数：29,663 (令和5年3月22日時点)

b リトリート旅をテーマとしたプロモーション

実施内容	実施時期	実績
雑誌「Discover Japan」(14ページ)	令和5年1月6日発売	部数：100,000部
「Discover Japan Web」にて記事転載	令和5年1月23日公開	月間記事PV数：11,040
タクシーサイネージでの記事配信	令和5年2月6日～ 令和5年2月19日	表示回数：1,135,841回

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

マーケティング調査の結果に基づき、ウィズコロナ・アフターコロナの旅行先として本県を選んでもらえるよう、ターゲット毎に効果的な媒体を活用した情報発信を行ったことにより、インフルエンサーによるSNSを用いた情報発信における合計リーチ数3,592,132回など、本県の認知度を高めることができた。

(4) 2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業 (PR観光課)

<1> 施策の目的

本県がもつ2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)を活かし、各島の自然遺産の魅力とあわせて、歴史や文化を体感できる周遊旅行商品の造成を促進することで、新型コロナウイルス感染症の影響で観光客の減少が続く奄美群島と屋久島双方の誘客拡大を図り、継続的な誘客を促進する。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

世界自然遺産である屋久島、奄美大島または徳之島を周遊する、以下の要件を満たす、旅行商品造成に要する経費を1商品80万円を上限に助成する。

ア 造成要件

- (ア) 新規に造成する旅行商品であること
- (イ) 屋久島と奄美(奄美大島または徳之島)それぞれで1泊以上すること
- (ウ) 屋久島と奄美大島を航空機、あるいは船舶で結び周遊すること。なお、徳之島については、屋久島、奄美大島、各島間を船舶、あるいは航空機を利用し移動すること
- (エ) 発着地は県内外とする

イ 対象経費

開発費，旅行商品チラシ等作成経費，印刷製本費，輸送費等

ウ 実績

5商品造成 合計催行回数8回（うち1商品は台風により催行中止）

送客実績 97人（286人泊）

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

奄美と屋久島の2つの世界自然遺産の周遊促進を目的に，各島の自然遺産の魅力とあわせて，歴史や文化を体感できる旅行商品の造成を促進することにより，奄美群島と屋久島双方誘客拡大を図ることができた。

(5) フィルムコミッション活動支援事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

本県における映像製作の支援環境を整え，本県の魅力を情報発信する機会を増やすことにより，本県の更なる観光振興を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

本県における映像制作の支援環境を整えるとともに，製作支援を実施した。

支援実績

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
映画	7件	13件	9件	6件	11件
CM	8件	12件	9件	10件	6件
TV番組	15件	28件	22件	17件	23件
TVドラマ	—	1件	1件	3件	—
その他	18件	28件	34件	11件	14件
計	48件	82件	75件	47件	54件

※上記表については，製作支援を行った総数であり，実際に本県で撮影等が行われた総数ではない。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

制作支援を行うことで，テレビ等による本県の魅力を情報発信する機会を創出し，本県の更なる観光振興に繋げることができた。

(6) 修学旅行等対策事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

鹿児島県教育旅行受入対策協議会において，多様化する修学旅行の動向を踏まえながら，「望ましい修学旅行地」としての受入体制づくりを行うとともに，積極的な修学旅行誘致事業を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 教育旅行誘致セールス事業

- ・旅行会社・教職員を対象とした素材説明会・相談会
- ・県内学校及び県外旅行会社への情報発信
- ・南九州修学旅行誘致受入対策会議の開催

イ 広報宣伝事業

- ・教育旅行関連情報誌への広告掲載
- ・教育旅行ガイドブックの作成

ウ 受入対策事業

- ・受入体制整備促進事業（講習会の開催）
- ・メッセージ事業

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

多様化する修学旅行の動向を踏まえながら，受入体制づくりや積極的な修学旅行誘致事業を実施できた。

(7) 教育旅行学習プログラム造成事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ教育旅行の更なる誘致を図るため、本県の観光素材を活用した学習プログラムの整備を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 磨き上げる体験プログラムの選定

県内で教育旅行を実施する学校（主に中学校，高等学校）向けに，学習プログラムとして磨き上げる体験プログラムを既存の体験プログラムの中から選定した。（90本程度）

イ 事前学習，現地学習，事後学習の整備（磨き上げ）

選定したプログラムを実施する事業者と連携し，「旅行前の調査・課題設定」，「現地での学習」，「旅行後の振り返り・発表」など一連のプロセスが体験できるような内容へと整備した。

ウ 事前学習・事後学習用ワークシートの作成

児童・生徒がイで検討した内容を学ぶことができるよう，事前学習・事後学習用のワークシートを作成した。

エ モニター体験の実施

磨き上げた学習プログラムについて，学校の先生や教育分野を専門とする大学教授などを対象としたモニター体験を実施し，参加者の意見を集約して改善を行った。

オ 広報用データ作成

県が今後，教育旅行のセールスに使用するための学習プログラムを集約したデータを作成した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

既存の体験プログラムの磨き上げや事前学習・事後学習用ワークシートの作成を行い，教育旅行の更なる誘致を図るための学習プログラムが整備できた。

(8) わたしの鹿児島よかところ旅事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

マイクロツーリズムの促進を図るため，コロナ禍における県民の県内旅行で再認識された鹿児島の日常の中にある観光素材を県民等から収集し，新たな観光コンテンツとして情報発信を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 素材の収集

「鹿児島県での感動エピソード」をテーマに，鹿児島県で感動したり印象に残ったりした場所や風景について，県民等から写真やエピソードを募集した。（応募総数2,592件）

イ 素材の整理・磨き上げ

応募のあった写真やエピソードから選定した情報を活用し，各自治体やDMOと連携してモデルコースを作成した。

ウ 鹿児島旅カレンダーの作成

応募のあった写真やエピソードから365日分を選定し，日めくりカレンダー（365 STORY KAGOSHIMA CALENDAR）を作成した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

写真やエピソードの募集や応募内容に基づいた新たな観光コンテンツの情報発信を行うことで県民等に県内の魅力的な観光素材を認識してもらうことができた。

(9) 鹿児島・佐賀相互誘客事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

「鹿児島・佐賀エールプロジェクト」の一環として，佐賀県民の鹿児島旅行の機会の創出と両県の交流促進を図り，また新型コロナウイルスの長期的な感染拡大により打撃を受けた本県の観光需要の回復を図るため，佐賀県発鹿児島県着の旅行商品を企画し催行した際に，実績に応じ旅行会社に対して助成金を交付する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 交付対象者

佐賀県内に事業所を持つ旅行会社

イ 対象旅行商品

- ・佐賀県内を発地とする旅行で、宿泊施設、交通機関等の手配を含めた商品
- ・鹿児島県内での宿泊を伴う旅行商品
- ・令和4年4月1日から令和5年1月31日までの期間内において催行する旅行商品

ウ 助成額

3,000円/人・泊

エ 実績

864,000円（10社，288人）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

佐賀県民の鹿児島旅行の機会が創出され、両県の交流促進を図ることができた。

(10) 鹿児島・岐阜交流県誘客事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

姉妹県交流50周年を契機に、鹿児島県のPRを図ると共に、本県への旅行需要を喚起し、本県への新規旅行者やリピーターの確保を図る。

また、旅行者による、県内での観光消費の拡大を促進し、観光客が減少している観光業の支援に繋げる。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

大手OTAを活用し、岐阜県発・鹿児島着の旅行商品に対して割引クーポンの発券を行った。

ア 宿のみ

(ア) 宿のみ

補助件数：170件

補助金額：850,000円

(イ) 交通付パック

補助件数：4件

補助金額：20,000円

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

岐阜県民の鹿児島旅行の機会が創出され、県内での観光消費の拡大促進が図られた。

(11) 南九州観光振興事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

南九州3県（鹿児島県・熊本県・宮崎県）が連携し、南九州観光情報発信や、修学旅行の誘致活動を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国内対策事業

(ア) 南九州地区修学旅行誘致促進事業

新型コロナウイルス感染症の影響による修学旅行の変更がある中、変更先や新型コロナウイルス感染症収束後に南九州3県が選ばれるために、南九州3県が連携し、効果的な修学旅行誘致を実施した。

a 令和7年（2025年）度南九州地区修学旅行素材説明会

・実施時期：令和5年2月7日（火）16:30～17:45

・参加者数：44人

・会場：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム（大阪府）

b 南九州3県学校向け修学旅行素材説明会

・実施時期：令和5年3月15日（水）15:00～16:00

・参加者数：4人

・会場：オンライン

(イ) 南九州3県周遊促進事業

南九州3県を周遊するスタンプラリーで複数県を回った方を対象に、南九州3県の特産品をプレゼントする企画を実施した。

・実施時期：令和4年10月8日（土）～令和5年1月9日（月・祝）

・参加者数：357人

イ 海外対策事業

(ア) 香港市場向け情報発信事業

アドベンチャーリズムをフックとした情報発信事業

香港市場での自然志向・屋外志向の高まりに合わせ、南九州3県の強みを活かしたアドベンチャーリズムという切り口で情報発信を実施した。

招 請 者：日本在住の香港人ブロガー1人

招請期間：令和5年2月6日（月）～9日（木）

発信媒体：フェイスブック、インスタグラム

(イ) 台湾市場向け情報発信事業

南九州3県周遊サイクリングコース情報発信事業

台湾現地のサイクル専門雑誌に、南九州3県のサイクルコース及び観光スポットを掲載した。

掲載時期：令和5年2月

(ウ) 韓国市場向け情報発信事業

ゴルフをテーマとした韓国向け情報発信事業

韓国在住のブロガーを招請し、南九州3県でのゴルフをテーマとした情報発信を実施した。

招 請 者：韓国在住の旅行系ブロガー2人

招請期間：令和5年2月5日（日）～10日（金）

発信媒体：NAVER BLOG, フェイスブック, インスタグラム等

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ア 国内対策事業

修学旅行誘致セールス等を実施し、南九州広域の周遊促進が図られた。

イ 海外対策事業

香港・台湾・韓国市場に向けた情報発信を実施し、南九州3県の観光情報の周知及び認知度向上が図られた。

(12) 「稼げる」観光地域づくり推進事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成、新たなマーケティングやコンテンツの造成等に対する支援を行い、地域の多様な関係者が連携した観光地域づくりの推進体制を確立し、各エリアの観光戦略に基づく観光地経営による「稼げる」観光地域づくりを推進する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光地域づくり人材養成講座

専門人材育成のため、観光地経営ノウハウ等の取得を目的とした講座を開催した。

・時 期：令和4年7月～令和5年2月（全7回）

・参加者：延べ125人

・その他：講座の最終回には、セミナー参加者による取組報告会を開催

イ 観光地域づくりシンポジウム

観光地域づくりにおける、県外の先進事例のほか、他地域で活用できるノウハウを展開することにより各地域における観光地域づくりを支援するためのシンポジウムを開催した。

・時 期：令和5年1月16日（月）、17日（火）

・開催地：鹿児島市、鹿屋市、奄美市

- ・参加者：35人
 - ウ 各観光地域への専門家派遣等の自立化支援

県内の観光地域づくり団体に対し、課題解決に向けた支援を行うため、専門家を派遣し、助言・指導を実施した。

 - ・時 期：令和4年10月～令和5年3月
 - ・実 績：(一社) 出水市観光特産品協会
 - (一社) いぶすき観光デザイン
 - (一社) 南さつま市観光協会
 - (株) おおすみ観光未来会議
 - エ 観光ガイド育成セミナー

地域における観光ガイドの育成・自立化に向けた研修会を開催した。

 - ・日 程：令和5年2月27日(月)
 - ・参加者：20人
- <3> 施策の実施による成果 (アウトカム)
- 「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成等を実施した結果、各エリアの観光戦略に基づく観光地経営による「稼げる」観光地域づくりの体制づくりが推進された。

(13) サイクルツーリズム推進事業 (PR観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

県内市町村及び関係団体等が連携・協力し、本県での自転車を活用した周遊観光の推進による交流人口の拡大を図る。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

ア 県サイクルツーリズム推進協議会等の開催

(ア) 県サイクルツーリズム推進協議会の開催

- ・日 程：令和4年5月23日(月)
- 令和5年2月16日(木)
- ・内 容：モデルルート承認など

(イ) 県サイクルツーリズム推進協議会地域部会の開催

- ・実 績：南薩地域部会・・・4回
 - 北薩摩地域部会・・・6回
 - 霧島・始良地域部会・・・4回
 - 大隅地域部会・・・4回
 - 熊毛地域部会・・・4回
- ・内 容：モデルルート案の検討、実走 など

イ サイクルツーリズムセミナーの開催

- ・日 程：令和5年2月16日(木)
- ・参加者：84人
- ・内 容：テーマ「サイクルマーケットの多様性-SDGsの視点から」
- ・講 師：アドベンチャーパケーションネットワーク 代表 滝川 望氏 ほか2名

ウ モニターツアーの実施

著名なサイクリストによるモニターツアーを実施し、SNSや雑誌等媒体において情報発信を行った。

- ・対象ルート：北薩、甕島、種子島、屋久島の各ルート
- ・参 加 者：なるしまフレンドサイクリングクラブ事務局 高橋 正子氏
 - 九州王国編集部編集長 上田 瑞徳 氏
- ・開催時期：令和4年11月6日～10日
- ・媒体名：Facebook、雑誌「九州王国2月号」

エ サイクルステーション等整備支援事業

本県のサイクルツーリズムを推進するため、自転車による観光客の利便性向上を目的に、サイクルスタンド等の整備を実施する事業者等に対し、補助を行った。

(ア) 対象事業者：県内の市町村、観光協会、観光地域づくり団体、観光関連事業者、宿泊事業者、民泊事業者

(イ) 補助率・上限額

① サイクルステーション整備事業：1/2以内 18千円以内

② サイクリストに優しい宿整備事業：1/2以内 50千円以内

(ウ) 補助件数

6件(368千円)(内訳：①3件、②3件)

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

地域部会の開催等により県内の関係者間のネットワーク構築や、モデルルートの策定などによりサイクルツーリズム推進に向けた機運の醸成が図られた。

(14) 磯新駅設置支援事業(P R観光課)

<1> 施策の目的

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産が存する磯地区に新駅を設置することにより、県全体の観光の振興を図るため、関係団体及び鹿児島市等と連携し、新駅設置に向けた支援を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

磯新駅設置協議会に対し、負担金を拠出した。

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

磯新駅の設置に向け、関係団体における各種調整が図られた。

(15) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業(スポーツ振興課) (地方創生関連事業) (再掲)

4(3)①(2)において前述

(16) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業(スポーツ振興課) (地方創生関連事業) (再掲)

4(3)①(3)において前述

② 外国人観光客の来訪の促進等

(単位：千円)

予算科目	予算額	財 源 内 訳			決算額	財 源 内 訳		
		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源
観 光 費	216,028	151,633	—	64,395	207,386	144,080	58	63,248
内								
海外誘客ステップアップ事業	95,311	43,041	—	52,270	94,309	42,540	—	51,769
国際クルーズ船誘致促進事業	20,551	8,426	—	12,125	19,873	8,336	58	11,479
インバウンド需要回復に向けた情報発信事業	7,195	7,195	—	—	7,194	7,194	—	—
インバウンド誘客早期回復事業	90,971	90,971	—	—	84,012	84,012	—	—
訳								
ベトナム誘客特別プロモーション事業	2,000	2,000	—	—	1,998	1,998	—	—
計	216,028	151,633	—	64,395	207,386	144,080	58	63,248

(1) 海外誘客ステップアップ事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

国や九州観光機構等と連携しながら、現地及びWEBでのプロモーション・各種メディアや旅行会社の招請など、誘客促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 直行便市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

海外における本県の認知度向上を図るため、台湾・韓国の市場に「観光ビジネスパートナー」を起用し、SNSやWEBなどのメディアを活用した情報発信や旅行博覧会への出展など、B to Cをメインとしたプロモーションを行い、誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
香 港	Facebook, Instagram	534回
台 湾	Facebook, Instagram	193回
韓 国	Facebook, NAVER Blog	461回
中 国	Wechat, Weibo	209回

b 旅行博覧会等への出展

対象国	実施日	主な内容	備考
香 港	令和4年7月20日～7月26日	「香港ブックフェア2022」の「Sports & Leisure Expo」に鹿児島県ブースを出展	来場者数約85万人
台 湾	令和4年11月22日	訪日教育旅行オンライン個別商談会に参加	商談数8校

c B to B, B to C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
香 港	令和4年5月26日～30日（招請日）	香港のインフルエンサーを招請し、YouTubeにより情報発信を実施	—
	ポップアップショップ： 令和4年9月21日～10月3日 観光ミニセミナー： 令和4年9月22日	一般向けにポップアップショップを開催すると共に、現地メディア向けに観光ミニセミナーを実施	—
台 湾	令和4年12月9日～令和5年	宮崎県と連携したポップアップストアを開	来場者数

	1月3日	催し、一般向けに特産品や観光の情報を発信	26,560人
	令和5年1月～3月	台湾の訪日旅行サイトと連携し、YouTubeにより本県観光情報を発信	－
	令和5年3月13日～3月17日	台湾のメディア及びインフルエンサーを招請し、SNSやデジタルメディア等により観光情報を発信	メディア数2社 インフルエンサー数3人
中国	令和5年1月7日	県上海事務所と連携して、上海の鹿児島ファンや富裕層などをターゲットとした現地・オンラインのプロモーションを実施	参加人数36人
	令和5年3月23日	中国の動画配信SNSドウイン（中国版TikTok）において観光記事を配信	－

(イ) 旅行会社等プロモーション

コロナ禍前に直行便が就航していた市場に対し、現地セールスを実施し観光PRや各市場の情報収集を行うとともに、在日を含む海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換等を通じて旅行商品化の促進を図った。

a 現地セールス

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
香港	令和4年12月26日～30日	7社	4人（交通政策課及び観光連盟含む）
台湾	令和4年12月17日～21日	8社	7人（交通政策課及び観光連盟含む）
	令和5年1月30日～31日	1社、1団体	8人（交通政策課等含む） ※知事トップセールス
韓国	令和5年2月14日～15日	4社	11人（交通政策課及び観光連盟含む）

b 視察受入

対象国	実施日	被招請者	視察地
香港	令和4年6月9日～11日	旅行会社	南さつま市，霧島市，鹿児島市
	令和4年7月2日～3日		垂水市
	令和4年7月8日～9日		鹿児島市，霧島市
	令和4年7月21日～22日		いちき串木野市，薩摩川内市，日置市
	令和4年8月7日～9日		指宿市
韓国	令和4年12月8日～10日	ランドオペレーター	鹿児島市，霧島市

c B to B, B to C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
香港	令和5年3月16日～9月15日	香港の旅行会社の現地店舗を活用し、本県の観光プロモーションを実施	－
韓国	令和4年10月5日	九州観光機構主催のセミナー・商談会に参加	商談社数 9社
	令和5年3月14日～16日	アジアゴルフツーリズムコンベンションに出展	派遣者数 1人

イ 戦略的市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場における本県の認知度向上を図るため、SNSやWEBなどのメディアを活用した情報発信や旅行博覧会への出展など、B to Cをメインとしたプロモーションを行い、誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
タイ	Facebook	55回
ベトナム	Facebook	100回
シンガポール 欧米豪	Facebook	69回

b 旅行博覧会等への出展

対象国	実施日	主な内容	来場者数
タイ	令和4年9月2日～4日	バンコク日本博2022に鹿児島県ブースを出展	約9.3万人
	令和5年1月27日～29日	訪日旅行FITフェアに鹿児島県ブースを出展	約5万人
	令和5年2月16日～19日	旅行博覧会（TITF）に鹿児島県ブースを出展	約25万人
シンガポール	令和5年2月24日～26日	シンガポールの旅行博「NATAS」に鹿児島県ブースを出展	約9.2万人

c BtoB, BtoC向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	参加人数
タイ	令和4年5月26日～29日	タイ人俳優及び在日インフルエンサーを招請し、SNS掲載用の写真や動画のコンテンツ取材と情報発信を実施	2人
シンガポール	令和4年10月1日～11月30日	シンガポール国内のレストランにおいて観光プロモーションを実施	—
欧米豪	令和5年2月24日	シカゴ日米協会向けにオンラインプロモーションを実施	約40人

(イ) 旅行会社等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場に対し、現地セールスを実施し観光PRや各市場の情報収集を行うとともに、在日を含む海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換等を通じて旅行商品化の促進を図った。

a 現地セールス

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
タイ	令和4年12月19日～23日	4社	2人（観光連盟）
シンガポール	令和4年12月5日～8日	7社	2人（観光連盟）
欧米豪	令和4年10月18日～21日	9社	4人（観光連盟含む）

b 視察受入

対象国	実施日	被招請者	視察地
タイ	令和4年11月11日～13日	在東京タイ王国大使館関係者	鹿児島市、霧島市、指宿市
ベトナム	令和4年6月27日～30日	旅行会社	鹿児島市、霧島市、指宿市、南九州市
	令和4年11月24日～27日		鹿児島市、霧島市、指宿市、南九州市、出水市、鹿屋市、垂水市、伊佐市、湧水町、南大隅町
シンガポール	令和4年5月19日～22日	シンガポールの日系旅行会社等	南九州市、鹿児島市、いちき串木野市、南さつま市、伊佐市
欧米豪	令和5年1月23日～26日	豪水泳関連旅行会社	鹿児島市、屋久島町

c B t o B, B t o C 向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	商談社数
シンガポール	令和4年10月18日	九州観光機構主催「シンガポール旅行会社・メディア向け九州観光セミナー&商談会」に参加	6社
欧米豪	令和4年10月11日～13日	九州各県と連携した豪州旅行会社向けのプロモーションを実施	2社

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

香港・台湾・韓国・中国・タイ・ベトナム・シンガポール・欧米豪を中心に、国や九州観光機構等と連携しながら、現地またはWEBでのプロモーションを実施した他、現地のメディア及び旅行会社と連携した各種事業を実施した結果、本県への誘客促進が図られた。

(2) 国際クルーズ船誘致促進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

クルーズ船の本県への更なる誘致を図るため、本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向けたプロモーション等を戦略的・一体的に展開する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 現地セールス活動

本県へのクルーズ船誘致促進のため、クルーズ船社や旅行会社等へのセールス活動等を行った。

(ア) WEBによるセールス等

実施日	相手方
令和4年4月15日	旅行会社
令和4年5月13日	船社，旅行会社
令和4年5月16日	クルーズ専門誌コンサルタント部
令和4年5月31日	〃
令和4年6月1日	〃
令和4年7月25日	旅行会社
令和4年7月29日	〃
令和4年8月1日	クルーズ専門誌コンサルタント部

(イ) 訪問によるセールス

実施日	訪問先
令和4年5月18日	東京，神奈川
令和4年5月26日～27日	東京
令和4年9月4日～7日	東京
令和4年10月12日～13日	東京
令和4年10月17日	東京

イ 船社等視察受入

実施日	視察地
令和4年4月25日	いちき串木野市，薩摩川内市，伊佐市
令和4年4月26日	鹿児島市，霧島市，伊佐市，姶良市
令和4年5月16日～20日	鹿児島市，薩摩川内市，与論町
令和4年6月15日～17日	鹿児島市，霧島市，南九州市，指宿市
令和4年6月30日～7月1日	奄美大島
令和4年7月19日～21日	鹿児島市，日置市，枕崎市，鹿屋市等

令和4年11月16日～17日	鹿児島市
令和5年1月21日～22日	鹿児島市, 日置市, 霧島市
令和5年1月23日～27日	鹿児島市, 薩摩川内市, 喜界町
令和5年2月13日～15日	鹿児島市, 南九州市, 霧島市

ウ クルーズ船社等イベントへの参加

実施日	開催地	主な活動内容
令和4年5月28日	東京都	国内連携港と合同でブースを出展し、一般向けに鹿児島島の魅力をPR
令和4年10月14日	東京都	旅行会社の顧客を対象に、寄港地観光の魅力をPR
令和5年2月4日	大阪市	一般向けに鹿児島島の魅力をPR
令和5年2月18日	下関市	一般向けに鹿児島島の魅力をPR

エ ドルフィンポート跡地管理

シャトルバス停留所となっているドルフィンポート跡地の草刈り（夏，冬2回）及び台風14号支障木撤去・枝葉等回収を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アトム）

新型コロナウイルス感染症の影響により、長期間国際クルーズ船の寄港がなかったが、令和5年3月より国際クルーズ船の受入が再開し、多くの寄港が予定されている。受入再開後の寄港数の増加・定着化に向けて、セールスや情報発信により本県の認知度を維持・向上することができた。

県内各港クルーズ船入港実績

（単位：回）

港名	R2年	R3年	R4年
鹿児島	4	2	3
志布志	—	—	1
西之表	—	—	—
宮之浦	1	1	18
名瀬	2	—	9
古仁屋	—	—	—
湾	—	—	—
平土野	—	—	—
和泊	—	—	—
与論	—	—	—
合計	7	3	31

(3) インバウンド需要回復に向けた情報発信事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

県内在住外国人に自身のSNSを活用し、外国人目線で本県の魅力を発信してもらうことで本県の知名度向上を図る。また、令和3年度に改修した多言語観光サイトの情報発信力を強化する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 県内在住外国人による情報発信

県内在住外国人35人を「Kago Fan Creator」に任命し、自身のSNSで本県の魅力を発信した。

参加者：主に直行便市場（香港，台湾，韓国，中国）及び戦略的市場（タイ・ベトナム・シンガポール・欧米豪）の出身の外国人

任命期間：令和4年7月23日～令和5年3月31日

総投稿数：2,587件

イ 多言語観光サイトによる情報発信強化

(ア) 誘客力のある海外ウェブサイトとの連携

誘客力のある外部の海外ウェブサイトと連携し、本県サイトだけでは提供できない情報の充実化を図った。

(イ) コンテンツ充実のための取材・撮影

取材・撮影を通して、定期的に情報の更新を行うSEO対策を実施した。

(ウ) コンテンツ充実のための翻訳

日常的に発生する情報の更新に係る翻訳を行い、最新の情報を掲載した。

言語数：5言語（英語、韓国語、簡体字、繁体字、ベトナム語）

(エ) システムの改修及び保守管理

ベトナム語版観光サイトの充実化や各言語における特集ページの新設、観光情報の追加等を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

県内在住外国人に本県の魅力を自身のSNSを活用して発信してもらうことにより本県の知名度が向上し、また、多言語観光サイトの情報発信強化によって同サイトへのアクセス数が増加した。

多言語観光サイトへのアクセス数

R2年度	R3年度	R4年度
121,202	142,559	457,759

(4) インバウンド誘客早期回復事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

海外旅行市場の再開を見据え、新たな滞在型観光コンテンツの充実を図るとともに、市場再開後、速やかに海外からの誘客を回復させるため、旅行会社や国内外の航空会社等と連携した重点的なプロモーションなどに取り組む。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 鹿児島への移動手段の創出

鹿児島空港国際線再開までの間、羽田空港などの拠点空港へ入国した外国人観光客を本県へ誘致するため、交通キャリア等と連携したプロモーションなどを実施した。

(ア) 国内線と連携したプロモーション

ANA及びJALの外国人観光客向けプロモーションWEBサイトに本県の特集ページを掲載し、広告配信を実施

(イ) JR九州等と連携したプロモーション

福岡県から入国する外国人観光客の本県への誘致を促進するため、公共交通機関を活用した旅行商品の販売・広告配信を実施した。

(ウ) 直行4路線チャーター支援

令和5年1月から開始した韓国からのチャーター便運航に合わせて、チャーター便を利用した旅行商品造成への支援を実施した。

イ 鹿児島を訪問する目的の創出

アフターコロナにおいて本県を訪問する核となる目的の創出のため、伊佐市・湧水町エリアにおいて、NPO法人ホーストラストを中心とした新たな滞在型観光コンテンツを開発・磨き上げを実施した。

ウ 情報発信の強化

(ア) 世界市場に影響力を持つIT企業等と連携したプロモーション

本県の認知度向上及び旅行動機醸成を図るため、Googleと連携した効果的なプロモーションを実施した他、広告等の効果分析が可能な基盤設定を実施した。

(イ) 在日外国人による情報発信

海外航空会社の日本支社長クラスの在日外国人を招請し、外国人目線かつ、エグゼクティブクラスの目線で本県の魅力についてSNS等を活用して情報発信してもらうことで、本県の認知度向上を図った。

外資系航空会社 5 社 10 人

実施日	招請者
令和 4 年 11 月 12 日～14 日	ニュージーランド航空（2 人）
令和 4 年 12 月 1 日～3 日	デルタ航空（2 人）
令和 4 年 12 月 17 日～19 日	ターキッシュエアラインズ（2 人）
令和 5 年 1 月 27 日～29 日	ユナイテッド航空（2 人）
令和 5 年 3 月 17 日～19 日	ベトナム航空（2 人）

(ウ) 観光多言語パンフレットの対応

本県への外国人観光客誘致を図るため、外国語パンフレット等を作成

		作成部数
トラベルマニュアル	フランス語	300部
	ドイツ語	500部
パンフレット	フランス語	300部
	ドイツ語	500部
	中国語（繁体字）	21,000部

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響により、鹿児島空港国際線を使った外国人観光客の誘致が難しい中、交通キャリア等と連携したプロモーションや新たな滞在型観光コンテンツの開発等を実施した結果、アフターコロナに向けた本県への効果的な誘客促進が図られた。

(5) ベトナム誘客特別プロモーション事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

ベトジェットエアによる鹿児島・ハノイ線就航が実現した場合に、現地での観光セミナーや航空会社との連携キャンペーン等を実施することにより、ベトナム人観光客のさらなる増加を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光多言語パンフレットのベトナム語対応

ベトナム語観光パンフレットについて英語・韓国語・中国語（簡体字、繁体字）同様に現地での観光セミナー等や県内各所での配布等に対応するため、増刷を行った。

増刷部数：20,000部

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響により、ベトジェットエアによる鹿児島・ハノイ線が現在まで就航が延期されているところではあるが、ベトナム語観光パンフレットを増刷し、鹿児島・ハノイ線就航に向けた誘客プロモーションの準備ができた。

③ スポーツキャンプ等の誘致

(単位：千円)

予算科目	予算額	財 源 内 訳			決算額	財 源 内 訳		
		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源
観 光 費	107,523	1,628	90,000	15,895	105,400	1,599	90,000	13,801
内 訳								
スポーツ観光王国かごしま確立事業	9,463	1,628	—	7,835	7,340	1,599	—	5,741
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業	98,060	—	90,000	8,060	98,060	—	90,000	8,060
計	107,523	1,628	90,000	15,895	105,400	1,599	90,000	13,801

(1) スポーツ観光王国かごしま確立事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

スポーツを通じた観光客の増加を図るため、官民一体となってスポーツキャンプ・大会誘致及び参加者・観客への本県観光PRに取り組む。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア スポーツキャンプ対策県連絡会の開催

	開催期日	内 容	参加者数
第1回	令和4年8月2日 ※WEBを活用したハイブリッド方式	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度スポーツキャンプ・合宿状況調査結果について 誘致強化に関する市町村へのアンケート結果 スポーツ合宿実施団体が受入側に求める対応等 「スポーツキャンプ対策県連絡会」の機能強化等について 	55人 ※うち46人はWEB参加
第2回	令和4年11月10日 ※WEBを活用したハイブリッド方式	<ul style="list-style-type: none"> スポーツキャンプ・合宿等実施状況調査結果の分析による合宿実施者の傾向について 事例紹介（垂水市・鹿屋市・奄美市） 	46人 ※うち33人はWEB参加

イ スポーツ合宿等の誘致・受入強化

(ア) かごしまスポーツ合宿セミナーの実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、特にスポーツキャンプ・合宿の実施数が大きく減少している関西地域の実業団や大学部活動の代表者等を対象とし、スポーツキャンプ・合宿の誘致セミナーを大阪地区で2回開催した。

ウ 本県でキャンプを行うプロスポーツチーム等に対する激励品の贈呈

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
プロチーム等受入団体数	24団体	22団体	13団体	22団体	25団体

エ 本県でキャンプを行うプロスポーツチームの情報発信

(ア) キャンプ情報案内所の設置

設 置 場 所	設置期間
鹿児島空港国内線ターミナル内(1階到着ロビー横)	令和5年1月20日～3月6日

(イ) 「かごしまプロスポーツキャンプガイドブック2023」による周知

設 置 場 所	設置期間
鹿児島空港国内線ターミナル、鹿児島中央駅、県内ホテル等	令和5年1月20日～3月6日

(ウ) 課公式インスタグラム「どんすぼ」を活用した「Jリーグ春季キャンプ応援キャンペーン」の実施

実施期間	応募者数
令和5年1月15日～3月4日	73件

<3> 施策の成果(アトカ)

県内で実施される春季プロスポーツキャンプ等の周知を図ることにより、交流人口の拡大や地域活性化に寄与した。県外からのスポーツキャンプや合宿の受入については、新型コロナウイルスに関する行動制限等の緩和が行われたこともあり、前年の2倍に迫る増加が見られ、令和元年度の約160,572人(過去最高)の約7割まで回復した。

【スポーツキャンプ・合宿の受入状況】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ人数(人)	152,536	160,572	45,945	62,692	115,952
対前年度比増減(%)	5.4	5.3	△71.4	36.5	85.0
対前年度増減数(人)	7,879	8,036	△114,627	16,747	53,260
実人数(人)	33,446	37,047	7,257	12,245	21,341
団体数	1,308	2,168	383	574	860

(2) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業(スポーツ振興課) <地方創生関連事業>

<1> 施策の目的

本施設を核とした、スポーツ合宿等の実施により、大隅地域における交流人口の拡大や地域活性化を図るため、トップアスリート等の合宿誘致・受入及び施設維持管理等に関する業務の委託を行う。

<2> 施策の実施状況(アトブツ)

ア 事業内容

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の管理運営

イ 指定管理者

- (ア) 名称 ニチガスクリエイト・ミズノ共同事業体
- (イ) 期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)

ウ PR活動

- (ア) ホームページやSNSを活用したPR
- (イ) 広報用リーフレットを活用したPR
- (ウ) マスコミ等を通じたPR
- (エ) アスリートトレーニングセンター大隅のSNS等を活用したPR

エ 誘致活動

- (ア) 九州・中国・四国・近畿・東海・関東などの各エリアで開催される日本選手権等の陸上競技の各種大会に向き、本施設のPRを行うとともに、日本陸連や日本パラ陸連を訪問し合宿誘致活動を実施した。
- (イ) これまで本施設で合宿を行った団体や、各種大会でのPR時に連絡先をいただいた団体に対し、電話やパンフレット送付によるPR活動を実施
- (ウ) 指定管理者(ミズノ)のノウハウやネットワークを活用したトップアスリート等の誘致活動を実施

オ 令和4年度の主なスポーツイベントの企画・実施

施設利用促進や競技力向上を図るため、走り方教室などのスポーツイベントを実施

カ トップアスリートを活用した地域スポーツ振興

- (ア) ミズノトラッククラブ所属のアスリートによる地域の学校等での交流やスポーツ教室

キ ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅連絡会の開催

開催期日	内容	参加者数
令和5年3月24日 ※ 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員アンケート結果の報告 ・ 令和4年度と令和元年度の利用実績の比較 ・ これからの連絡会のあり方に係る検討結果 	—

<3> 施策の成果(アトカ)

ア 主な成果

施設利用者については、年間38,710人（令和元年度比6.4%減）と、令和3年度の実績（年間31,821名、令和元年度比23.0%減）から大きく増加した。

イ 令和4年度利用者数及び主な利用者

(ア) 利用者数 38,710人

(イ) 主な利用者（トップアスリート）

令和4年度は、日本記録保持者、日本選手権3位以内、直近2大会オリンピックパラリンピック世界大会の日本代表などのトップアスリートが、以下の選手をはじめとする85名利用があった。

飯塚 翔太 選手（東京オリンピック200m日本代表）

多田 修平 選手（東京オリンピック4×100mR日本代表）

児玉 芽生 選手（東京オリンピック4×100mR日本代表）

山元 篤 選手（東京パラオリンピック 走り幅跳び銀メダル）

(4) オール鹿児島でのおもてなしの推進

① 全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	16,342	6,461	—	9,881	16,340	6,460	—	9,880
内 訳 外国人観光客受入体制 整備事業	16,342	6,461	—	9,881	16,340	6,460	—	9,880
計	16,342	6,461	—	9,881	16,340	6,460	—	9,880

(1) 外国人観光客受入体制整備事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

国や九州観光機構等と連携しながら、鹿児島を訪れた海外の観光客が快適に周遊できるように、観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などの受入体制の整備を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光案内の実施

国際観光振興機構の「JNTO認定外国人観光案内所」（外国人のための外国語による観光案内所）とタイアップして、外国人観光客の利便を図るための観光案内、情報提供を行った。

- ・ JNTO認定外国人案内所：25か所（R5.3末時点）

イ 全国通訳案内士試験セミナー開催

外国語で観光案内を行う全国通訳案内士（国家資格）になるための試験概要や資格についての説明を行うとともに、現役の通訳案内士による講演等を実施した。

- ・ 実施日：令和4年6月25日
- ・ 参加者：10人

ウ 通訳ガイド有資格者レベルアップ研修セミナー開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図る一環として、全国通訳案内士（国家資格）等のレベルアップに向け、座学講習及び実務研修を実施した。

- ・ 実施日：令和4年5月～令和5年3月（座学5回，実地1回）
- ・ 参加者：延べ45人

エ 外国人観光客受入体制推進講習会の開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図るため、外国人観光客受入体制推進講習会を実施した。

- ・ 実施日：令和4年10月6日
- ・ 参加者：89人（一部オンライン）

オ フードダイバーシティセミナーの実施

ムスリムやベジタリアンなど多様な文化、習慣を持つ外国人旅行者が安心して「食」を楽しむとともに、快適に滞在できる受入環境の整備を推進するためにセミナーを実施した。

- ・ 実施日：①令和4年7月26日，②令和5年2月21日
- ・ 参加者：①50人（一部オンライン），②32人（オンライン）

カ 多言語コールセンターの運営

本県を訪れた外国人観光客が快適に周遊できるよう、多言語コールセンターを設置し、24時間365日対応の電話通訳サービスを提供した。

- ・ 開設日：平成30年7月27日
- ・ 対象：宿泊施設，観光案内所，観光施設，交通事業者，飲食店，小売店，医療機関，警察及び外国人観光客（令和元年10月1日から医療機関，警察）
- ・ 利用件数：毎月平均9件（令和4年度）

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

観光案内所の整備やガイドの育成，講習会の開催などにより，受入体制の整備向上が図られた。

13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

(1) 地域産業の振興を支える人材の確保・育成

① 商工業、建設業等を支える人材の確保・育成

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
就職促進費	10,592	5,283	—	5,309	10,528	5,261	—	5,267
内訳 外国人総合相談窓口運営事業	10,592	5,283	—	5,309	10,528	5,261	—	5,267
計	10,592	5,283	—	5,309	10,528	5,261	—	5,267

(1) 外国人総合相談窓口運営事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

在留外国人に対する多言語での情報提供や相談を行う相談窓口の設置を行い、本県に居住する外国人が安心して働き暮らせる環境整備を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

「外国人総合相談窓口」を設置し、在留外国人に対する多言語での情報提供や相談を実施した。

設置場所：かごしま県民交流センター1階 国際交流プラザ内

開所日時：原則火曜日～日曜日、午前9時～午後5時

相談体制：相談員2人（ベトナム人1人、日本人1人）

主な機能：在留資格や雇用、医療・福祉等の生活に係る相談対応（多言語コールセンターやテレビ電話通訳等も活用）、出張相談 等

相談件数：303件

【相談内容別】

(単位：件)

雇用労働	入管手続	日本語学習	医療	社会保険年金	教育	通訳翻訳
42	41	22	20	9	8	16
交通 運転免許	税金	住宅	身分関係 (結婚等)	出産 子育て	防災 災害	その他
6	4	12	5	2	0	116

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

在留外国人に対する在留資格や雇用、医療・福祉等の生活に係る相談に対応し、外国人が抱える課題の解決が図られた。

16 新型コロナウイルス感染症に係る対策

(1) 雇用の維持と事業の継続

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	25,179	25,179	—	—	22,698	22,698	—	—
内 訳 新たな日常での文化芸術活動支援事業(再掲)	25,179	25,179	—	—	22,698	22,698	—	—
観 光 費	61,600	61,600	—	—	46,000	46,000	—	—
内 訳 地域公共交通維持特別対策事業	61,600	61,600	—	—	46,000	46,000	—	—
計	86,779	86,779	—	—	68,698	68,698	—	—

(1) 新たな日常での文化芸術活動支援事業(文化振興課) (再掲)

4 (2) ①(2)において前述

(2) 地域公共交通維持特別対策事業 (PR観光課)

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きな影響を受けている貸切バス事業者の運行の再開・継続を後押しし、観光需要の本格的な回復期に備えてもらうため、車両点検や感染防止対策等に要する経費の一部を支援する。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

支援実績 23事業者 230台 46,000,000円

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

コロナ禍で旅行客が落ち込む貸切バス事業者の運行の再開・継続に対する取組を支援することができた。

(2) 経済活動の回復

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
企画総務費	7,882	7,882	—	—	7,764	7,764	—	—
内 訳								
「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業	4,959	4,959	—	—	4,907	4,907	—	—
「明治日本の産業革命遺産」佐賀・鹿児島魅力発信事業	2,923	2,923	—	—	2,857	2,857	—	—
観光費	22,260,673	21,757,086	—	503,587	11,589,452	11,549,922	—	39,530
内 訳								
修学旅行誘致促進事業	53,315	53,315	—	—	51,986	51,986	—	—
県内観光促進緊急対策事業	3,769,470	3,763,014	—	6,456	3,207,319	3,200,864	—	6,455
宿泊施設の認証取得促進事業	183,206	183,206	—	—	115,051	115,051	—	—
観光事業者等受入環境整備支援事業	377,113	377,113	—	—	336,775	336,775	—	—
鹿児島GOTトラベル推進事業	12,635,557	12,635,557	—	—	7,810,956	7,810,956	—	—
鹿児島県地域観光支援事業	5,194,436	4,697,305	—	497,131	33,075	—	—	33,075
県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業	9,750	9,750	—	—	9,750	9,750	—	—
「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業	2,590	2,590	—	—	1,765	1,765	—	—
かごしまスポーツ合宿促進事業	35,236	35,236	—	—	22,775	22,775	—	—
計	22,268,555	21,764,968	—	503,587	11,597,216	11,557,686	—	39,530

鹿児島県地域観光支援事業 翌年度への繰越額 5,161,361千円

(1) 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業（文化振興課 世界文化遺産室）〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

県内構成資産や関連産業遺産について各種媒体を活用し情報発信をすることで、理解増進及び誘客促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア メディアを活用したプロモーション・情報発信

(ア) 世界遺産登録7周年クイズキャンペーンの実施

媒体	事業内容	期間	参加者
WEBサイト	特設サイトによる世界遺産登録7周年クイズキャンペーン	令和5年1月16日～3月6日	1,693人

(イ) メディア招聘による県内構成資産等の情報誌への掲載

媒体	掲載内容	掲載号
雑誌「ソワニエ+」	県内構成資産と関連産業遺産、周辺飲食店等	令和5年1・2月号

(ウ) リーフレットの制作・配布

名称	配布先	作成部数	規格等
かごしまのいっぺこっぺ	県内構成資産周辺飲食店等	5,000部	A5・12頁

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

県内構成資産及び関連産業遺産について、理解増進等が図られた。

(2) 「明治日本の産業革命遺産」佐賀・鹿児島魅力発信事業（文化振興課 世界文化遺産室） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

両県それぞれの構成資産の魅力等についてトークイベントを行うことにより、県民の世界遺産に対する理解増進を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

鹿児島・佐賀エールプロジェクト 明治日本の産業革命遺産の魅力トーク&フェスタの開催

日程	場所	内容	参加者
令和5年2月25日、26日	イオンモール鹿児島	河合敦氏講演会（25日のみ） マルシェ、ワークショップ、 パネル展	91名（講演会）

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

両県に所在する構成資産等について、理解増進が図られた。

(3) 修学旅行誘致促進事業（PR観光課）

〈1〉 施策の目的

県内外の学校が県内で実施する教育旅行において、貸切バス借上に要する経費や修学旅行における施設見学等に要する経費を支援することで新型コロナウイルス感染症の影響により減少している修学旅行の誘致促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 教育旅行貸切バス借上支援

(ア) 補助の内容

県内で実施する修学旅行において、1台1日あたり上限50,000円を補助

(イ) 対象となる教育旅行

- ・令和4年4月1日以降に出発し、令和4年12月31日までに帰着すること。
- ・県内において、見学や体験を実施し、かつ、県内において1泊以上宿泊すること。
- ・県外の学校においては、コロナ前である平成30年度及び令和元年度ともに本県で修学旅行を実施していない学校が本県で実施すること。

(ウ) 補助件数

139件（県内学校67件、県外学校72件）

イ 県外修学旅行生に対する県有施設入館料等の免除

(ア) 対象施設

修学旅行における施設見学等の利用が見込まれる施設のうち、利用料金等を徴収するもの（7施設）

(イ) 対象者等

県外に設置されている小学生、中学生、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の児童、生徒及び引率者であって、教育課程等に基づく学習活動（修学旅行）として県有施設を利用する者

(ウ) 期間

令和4年4月1日（金）から令和4年12月31日（土）

※入館料等免除の取組は、黎明館については令和2年9月1日（火）から、それ以外の施設については令和2年10月7日（水）から実施

(エ) 実績

- ・学校数 189校
- ・人数 8,387人

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う教育旅行の沖縄県や首都圏から九州への方面変更の影響だけでなく、新型コロナウイルスの感染リスクを低減するための貸切バスの借上に要する経費や修学旅行における施設見学等に要する経費を支援したことで、教育旅行による誘客を図ることができた。

(4) 県内観光促進緊急対策事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

国の補助金を活用し、県内での観光を促進するため、県民及び九州・沖縄各県居住者向けに旅行商品の割引を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 旅行商品割引助成

宿泊(1人泊当たり)又は、日帰り(1人1回当たり)の旅行代金の50%（5,000円上限）割引した。

・利用実績：3,236,590,600円

宿 泊：679,143人泊

日 帰 り：75,183人

イ 今こそ鹿児島クーポン

アの割引対象旅行商品のうち、旅行代金が4,000円以上のものに2,000円分の商品クーポンを付与した。

・利用実績：1,334,209,000円

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

コロナ禍により旅行需要が急激に減少する中、旅行費用に対する割引助成を行うことにより一定の観光需要を創出することができた。

令和4年度延べ宿泊者数 6,619,950人泊（前年度比128%）

(5) 宿泊施設の認証取得促進事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

県が適切な新型コロナウイルス感染症対策の講じられた宿泊施設を認証することにより、各施設の感染対策を促進するとともに、認証の速やかな取得を促す。また、認証の取得又は維持にかかる感染防止対策の費用の一部を支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

・申請数：692施設

・認証数：686施設

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

感染防止対策の講じられた宿泊施設を認証し公表するとともに感染防止対策の費用の一部を支援することにより、宿泊施設の感染防止対策への意識を向上させることができ、また認証済宿泊施設の利用を促進することができた。

(6) 観光事業者等受入環境整備支援事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復に向け、宿泊施設のバリアフリー化及び観光事業者の新たな需要に対応する取組を支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア バリアフリー化支援

対象事業者：宿泊施設

補助対象経費：客室等のバリアフリー化に係る費用

助成件数：39件

助成金額：139,419,000円

イ 前向き投資支援

対象事業者：宿泊施設、貸切バス事業者、観光施設、旅行者

新たな需要に対応するための取組に係る費用

助成件数：159件

助成金額：176,159,000円

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

コロナ収束後の観光需要回復に向けた宿泊施設のバリアフリー化や観光事業者の新たな需要に対応する取組を促進することができた。

(7) 鹿児島G o T oトラベル推進事業（PR観光課）

〈1〉 施策の目的

県内での旅行商品の割引やタクシー・レンタカー利用料金の助成などの需要喚起策を講じ、本県観光関連産業の早期回復を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア らくらく鹿児島巡り事業

県外観光客に対し、タクシー・レンタカー利用料金の割引助成を行った。

区 分	助成件数	助成金額
タクシー	2,837件	12,946,000円
レンタカー	17,821件	78,380,000円

イ 体験たっぷりプレゼント事業

県外観光客が利用する鹿児島県の体験商品について、割引助成を行った。

利用実績 52,649,775円（11,384人）

ウ 全国旅行支援

国の地域観光事業支援を活用して、全国の方々を対象に本県内の旅行商品の割引や商品クーポンの付与などの需要喚起策を講じ、本県観光関連産業の早期回復を図る。

(7) 「今こそ鹿児島の旅（第3弾）」

a 割引期間

令和4年10月11日（火）～12月27日（火）

b 割引率：最大40%

c 割引上限額

＜宿泊旅行＞

・交通付：8,000円（離島11,000円）／人泊

・上記以外：5,000円（離島7,000円）／人泊

＜日帰り旅行＞ 5,000円／人回

d 商品クーポン（上記割引とセット）

・休日：1,000円

・平日：3,000円（4,000円※）

※平日の宿泊旅行（交通付）で第三者認証宿泊施設を利用した場合

e 利用実績

(a) 旅行商品割引 3,710,552,305円

・宿泊：694,709人泊

・日帰り：6,151人

(b) 商品クーポン 1,996,107,000円

(7) 「今こそ鹿児島の旅（第4弾）」

a 割引期間

＜個人旅行＞

令和5年1月10日（火）～7月21日（金）

＜団体旅行（貸切バス利用）＞

令和5年1月10日（火）～9月30日（土）

b 割引率：最大20%

c 割引上限額

< 宿泊旅行 >

- ・ 交通 付 : 5,000円(離島8,000円) / 人泊
- ・ 上記以外 : 3,000円(離島5,000円) / 人泊

< 日帰り旅行 > 3,000円 / 人回

d 商品クーポン (上記割引とセット)

- ・ 休日 : 1,000円
- ・ 平日 : 2,000円 (3,000円※)

※平日の宿泊旅行(交通付)で第三者認証宿泊施設を利用した場合(ただし、令和5年5月8日(月)以降予約受付分から適用しない。)

e 利用実績 (令和5年6月12日現在)

(a) 旅行商品割引 2,122,951,241円

- ・ 宿泊 : 799,932人泊
- ・ 日帰り : 14,951人

(b) 商品クーポン 1,693,497,964円

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

コロナ禍により旅行需要が急激に減少する中、旅行費用に対する割引助成を行うことにより一定の観光需要を創出することができた。

令和4年度延べ宿泊者数 6,619,950人泊 (前年度比128%)

(8) 鹿児島県地域観光支援事業

<1> 施策の目的

国の地域観光事業支援を活用して、全国の方々を対象に本県内の旅行商品の割引や商品クーポンの付与などの需要喚起策を講じ、本県観光関連産業の早期回復を図った。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

(7) 鹿児島GOTトラベル推進事業のウ 全国旅行支援の(i) 「今こそ鹿児島の旅(第4弾)」に前述

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

(7) 鹿児島GOTトラベル推進事業の<3> 施策の実施による成果 (アウトカム) に前述

(9) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業 (スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

鹿児島ユナイテッドFCが実施する新型コロナウイルス感染防止に必要な経費等の支援を通じ、円滑かつ安心安全に試合を観戦できる環境を確保するほか、同感染症の影響でスポーツに触れる機会が減少している小中学生の親子等を「サックス!ファミリー&スポーツデー」としてホーム戦に招待し、スポーツの振興に取り組む。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

ア 鹿児島ユナイテッドFCに対する補助金の支出 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等に係る支援)

イ 鹿児島ユナイテッドFCに対する委託料の支出 (新型コロナウイルス感染症の影響に伴う観客減に係る集客支援)

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響により、国のイベント開催制限等に伴い、試合会場への入場制限などJリーグのガイドラインに基づく対策を実施しながら、円滑かつ安全に試合が行われ、集客が図られた。

(10) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業 (スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

鹿児島レブナイズが実施する新型コロナウイルス感染防止に必要な経費等の支援を通じ、円滑かつ安心安全に試合を観戦できる環境を確保するほか、同感染症の影響でスポーツに触れる機会が減少している小中学生の親子等を「サ

ンクス！ファミリー&スポーツデー」としてホーム戦に招待し、スポーツの振興に取り組む。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 鹿児島レブナイズに対する補助金の支出（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等に係る支援）

イ 鹿児島レブナイズに対する委託料の支出（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う観客減に係る集客支援）

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響により、国のイベント開催制限等に伴い、試合数の減少、試合会場への入場制限などBリーグのガイドラインに基づく対策を実施しながら、円滑かつ安全に試合が行われ、集客が図られた。

(11) かがしまスポーツ合宿促進事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内でのスポーツ合宿が減少していることから、県内において実施する合宿に要する経費を助成し、県内でのスポーツ合宿の促進を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア スポーツ合宿inかごしま促進事業

(ア) 補助対象団体

本県でスポーツ合宿を行う県内外のスポーツ団体

(イ) 補助額

- ・ 1人1泊当たりの補助額 1,000円（定額）
- ・ 1団体当たりの補助限度額 10万円

イ JAPANアス撮れ！トップアスリート誘致事業

(ア) 補助対象者

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅でスポーツ合宿を行うトップアスリート（日本記録保持者等）

(イ) 補助額

10万円（定額）

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ア スポーツ合宿inかごしま促進事業

(ア) 実績額等

- ・ 団体数 287団体
- ・ 補助金確定額 17,804千円

(イ) 事業の効果

県内外の多くの団体が当事業を活用したことにより、県内でのスポーツ合宿の促進が図られた。

イ JAPANアス撮れ！トップアスリート誘致事業

(ア) 実績額等

1,500,000円（15人）

(イ) 事業の効果

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅におけるトップアスリートの合宿の促進とともに、SNSの発信などを通じてスポーツ合宿の促進が図られた。

17 原油価格・物価高騰等総合緊急対策

(1) 原油価格高騰対策

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	92,010	87,062	—	4,948	53,476	53,476	—	—
内 地域公共交通燃料油価格高騰対策事業	92,010	87,062	—	4,948	53,476	53,476	—	—
計	92,010	87,062	—	4,948	53,476	53,476	—	—

地域公共交通燃料油価格高騰対策事業 翌年度への繰越額 24,744千円

(1) 地域公共交通燃料油価格高騰対策事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

燃料油価格高騰により厳しい経営環境にある貸切バス事業者に対し、燃料油購入の負担軽減を行い、引き続き事業継続がなされるよう支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

- ・申請数：268事業所
- ・補助数：268事業所
- ・助成金額：42,166,000円

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

貸切バス事業者に対し燃料油購入の負担軽減を行い、引き続き事業継続がなされるよう支援できた。

(2) コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	9,186	8,803	—	383	1,099	1,099	—	—
内 訳 ウクライナ避難者支援 事業	9,186	8,803	—	383	1,099	1,099	—	—
計	9,186	8,803	—	383	1,099	1,099	—	—

ウクライナ避難者支援事業 翌年度への繰越額 1,915千円

(1) ウクライナ避難者支援事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

ウクライナから本県に避難してきた避難者に対し、市町村等と連携を図りながら、住所が決まるまでの一時滞在先の提供、ウクライナ語に対応した翻訳機の支給及び「鹿児島県ウクライナ避難民支援義援金配分委員会」による義援金の配分などの必要な支援を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 一時滞在先の提供

3世帯

イ 翻訳機の支給

5台

ウ 義援金の受入・配分

令和4年6月5日から受け入れを開始し、令和5年6月30日までに4回の配分を実施した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ウクライナから本県へ避難してきた避難者に対し、本県で安心して生活できる環境整備を支援することができた。